

令和4年度横浜みなとみらいホール指定管理業務評価表（外部評価）

	石田委員	伊藤委員長	佐々木委員	箕口委員	吉本委員
Ⅰ 文化事業	<p>【評価する点】 リニューアルオープン記念／横浜音祭り事業では、プロフェッショナル・オーケストラとの連携による事業企画や、プロデューサーinレジデンスを打ち出したうえでの事業企画などの新機軸を含め、数多くのオープニング事業を実施されたことが大いに評価できます。目標入場者数も上回っており、また満足度も80%を超えて良好な数字を確保するなど、来場者からの評価は高いものとなりました。プロデューサーinレジデンスから生まれた「みなとみらいクインテット」の活動継続なども成果と言えるでしょう。 横浜芸術アクション事業では、休館中の18区コンサートの展開など、市の拠点館としてのプレゼンスを十分発揮され、満足度が90%を超えるなど高い評価を獲得しました。各区の館が個別に呼べないアーティストの演奏会が実施できたといった声があがるなどの成果をあげられています。また、18区コンサートの実施が次の企画につながった館が出てきたことなども大きな成果だと考えます。 社会包摂事業に関しても、注目度と満足度の高さを確保されています。PRの効果もあって、様々なメディアで活動が報じられていました。</p> <p>【更なる取組を期待する点】 18区コンサートなどをつうじて館のステークホルダーを拡大した成果を継続していく方を講じ、市の拠点館としての役割を一層効果的に担うことを期待します。</p>	<p>【評価する点・更なる取組を期待する点】 1年10ヶ月に及ぶ大規模改修による長期休館後の、満を持してのリニューアルオープン記念の諸事業や、その後の横浜芸術アクション事業、更には以前から継続してきた事業の価値再構築のうえでの強化（リノベーション）など、極めて充実した内容で高く評価したい。また、前年度からの休館期間中の18区コンサートや、市内各地でのパイプオルガン演奏、中学生プロデューサーによるこどもの日コンサートなど、活動を継続してきた点も評価したい。 またプロデューサーinレジデンスにおいても初代プロデューサー藤木大地氏の発案での教育機関との連携、全国音楽事業者とのネットワーク構築への取組も、新しい試みとして評価したい。ただこれらのプロジェクトは長期的な取組と組織的対応が必須で、市内18区コンサートとも合わせ、単なるイベントとして終わらないように、しっかりした体制で継続していくことが期待される。</p>	<p>【評価する点】 リニューアルオープン記念事業と横浜音祭り2022が重なり数多くの公演を実施し、目標以上に実績を達成できたこと、プロデューサーinレジデンスでは初代プロデューサー藤木大地の発案による教育機関との連携・全国音楽事業者とのネットワークの取組ができたことを評価します。 また、若手音楽家や中高生が参加できる企画を積極的に行ったこと、視覚障害のある演奏家と視覚障害のない演奏家による「ミュージック・イン・ザ・ダーク」の取組ができたことは、社会的意義があると思います。</p> <p>【更なる取組を期待する点】 素晴らしい公演、企画を行っているので、引き続きそれを継続、実行していくことを期待します。</p>	<p>【評価する点】 1. リニューアルオープンにあたり、公演企画のリノベーションを行ったことを評価します。 特に、歴史も定評もある「ジルベスター」、「オルガン関連企画」を、みなとみらいホールが育ててきたアーティストの起用（「石田組」）、新任オルガニストとの協働でアップグレードさせ、従来のファンも、新しい聴衆も呼び込んでいるのは特筆に値します。 2. “育成”を複数の企画で実現していること、その内実の充実を評価します。 “アーティスト育成”“次世代育成”“インクルージョンの心の育成”を表看板に掲げていない企画にも、“育成スピリット”を織り込む心意気を感じます。長年こうした取組みをしてきたホールだからこそ可能な企画の匠です。 例：こどもの日コンサート→中学生プロデューサー Producer in Residence→オペラ「天岩戸」での大学との連携 Music in the Dark→視覚障害者との共演 石田組→石田組ジュニア 横浜市招待国際ピアノ→小中学生との交流、調律師WS、講演など *「こどもの日コンサート」の“中学生プロデューサー”は、各地で行われている同様の取組みが直面している諸課題を、ティーンエイジャーの行動変容プログラムであることに重きを置くことで乗り越えていこうとしている、という点を評価します。 3. 意義深い“ネットワーク”を評価します。 「パイプオルガンと横浜の街」「横浜18区コンサート」は、リニューアル休館中の事業として立ち上がったものですが、結果として、横浜みなとみらいホールが地域の中核文化芸術施設としての発想力、企画力を十二分に発揮したものになりました。特に、「パイプオルガンと横浜の街」は、学校、教会等に多数パイプオルガンが設置されている横浜ならではの強みに着目し実現させたことは特筆に値します。「横浜18区コンサート」は、地域の中核文化芸術施設のリーダーシップの実現のモデルケースとして注目しうるものです。 4. 公式ウェブサイトでのコラム／レポートでの発信とアーカイブを評価します。 広報がとかく「前パブ」に傾きがちな中、ウェブのレポートという形で、企画プロセスの推移、終了後のリフレクションや反響が発信されていることは、特筆に値します。公演・イベントの終了後に実際何が行われたかを誰にでもアクセス可能な形で提供することで、アーカイブとしての価値も高くなっていると考えます。</p> <p>【更なる取組を期待する点】 ●こうした取組みのSustainabilityが次の課題かと考えます。収入面でもマンパワー面でも限られたリソースをリノベーションを含む新たな取組みに再配分する根本的な変更を検討する頃合いに来ている気がします ●アーカイブの役割も意識した公演レポート（イベントレポート）の本格的導入を期待します。音楽業界が支えてきた批評機能が弱体化して久しく、レガシーメディアが（広告出稿前提の）前パブ偏向になっている現状を踏まえ、OWNメディアでのリフレクションを真剣に検討すべきと考えます。</p>	<p>【評価する点】 プロデューサーinレジデンス制度の導入や過去の実績にとらわれない事業の見直し、ホールオルガニストの交代などを進め、リニューアルオープンの記念事業は多彩かつ話題性のあるラインナップとなった他、顧客満足度、入場者数とも目標値を超える成果があった。 次世代を担う芸術家や音楽と社会をつなぐ人材の育成でも着実に事業を展開し、ミュージック・イン・ザ・ダークなどの社会包摂事業や市内学校との連携事業でも、ホールの受益者の裾野の拡大が図られている。</p> <p>【更なる取組を期待する点】 リニューアルオープンの成果を、一時の特別なものに終わらせることなく、ひきつづき、事業の充実に努め、音楽専門施設として横浜みなとみらいホールの価値やプレゼンスの向上につとめていただきたい。</p>

令和4年度横浜みなとみらいホール指定管理業務評価表（外部評価）

	石田委員	伊藤委員	佐々木委員	箕口委員	吉本委員
<p>㊦ 音楽専門ホールの提供</p>	<p>【評価する点】</p> <p>リニューアルオープン前後に起こった様々な問題に迅速に対応されたことは評価できます。聴衆を大切にしようとする姿勢がかえって広く伝わったのではないのでしょうか</p> <p>【更なる取組を期待する点】</p> <p>優れた音楽専門ホールだからこそ、熱心な聴衆を獲得できているのだと思いますので、皆さんが求めるホール環境のクオリティをしっかりと確保していただければと思います。リニューアルオープンにあたって頂いた皆様からの声を十分に生かすように、継続課題への取り組みをお願いしたいと思います。また、さらなる広報の充実に向け、耳に嬉しいホールとして、ホール音響の優れた点を前面に打ち出すのもちろんのこと、立地の良さを強みとして、眼にも楽しいホールであることをもっとアピールしてはいかがでしょうか。</p>	<p>【評価する点】</p> <p>協力公演誘致に取り組む視点・判断基準を明確化し、積極的に取り組もうという姿勢は評価できる。またそれに基づきリニューアルオープン後に多くの公演を実施した点も評価したい。</p> <p>【更なる取組を期待する点】</p> <p>コーディネーター機能の発揮については、音楽練習室の利用者へのアンケート実施以外に、特に一般的な取組以外行われていない。そもそもこの評価シートの項目に、昨年度までの「経営」に代わってこの「音楽専門ホールの提供」が加わった意味は何か？ たぶん昨年度指摘した、今後音楽専用ホールに求められる「専門性」に対する回答なのだろうが、ならば貸館事業の主体性強化（協力公演の誘致、コーディネーター機能発信）だけに留まらず、音楽専用ホールとしての専門的人材の育成や音楽文化に関わる「学芸機能」等にも触れてもらいたかった。</p>	<p>【評価する点】</p> <p>協力公演の判断基準を満たす公演を積極的に行ったことを評価します。</p> <p>【更なる取組を期待する点】</p> <p>音楽専門ホールとして、引き続き質の高いコンサートを開催できるよう取り組んでいただきたいと思います。</p> <p>また、市内音楽団体の活動状況把握が令和5年に着手とあるので、今年度計画通り行うことを期待します。</p>	<p>【評価する点】</p> <p>●委員会でのディスカッションを経て、この項目は主に貸ホール、特に協力公演への対応について、評価する項目であることを確認しました。</p> <p>●業務報告および評価表には明示されていませんでしたが、リニューアルオープン直後に協力公演聴衆からの指摘により表面化した新規設置の大ホール落下防止用ネットによる見切れ発生問題について、工事施工責任を持つ横浜市との迅速な協議によって問題解決に取り組んだことを評価します。</p> <p>●協力公演の誘致選択基準を明確に打ち出し、ホールの主体的判断を貸ホール業務の一つとして位置づけたことを評価します。また、評価項目に「コーディネーター機能を発揮」と設定したことで、貸ホール業務を運営規則に則る管理に加え、ホールに備わる各種リソースを経営グループの采配の元、協力公演主催者に提供し、共にホールのプレステージを向上させる事業のひとつと位置づけ、事業・運営マニュアル化にも取り組んでいることを評価します。</p> <p>【更なる取組を期待する点】</p> <p>●委員会のディスカッションでも指摘されましたが、新設の本項目について、評価項目細目も含めて、再検討することを期待します。「音楽専門ホールの提供」という括りには、「I文化事業」の実施根拠にも触れねばならない意味合いも含まれるので、委員会でもある程度整理したように、貸ホール業務を事業（プロジェクト）として位置づけ、使命（ミッション）との関連付けも考慮してください。</p>	<p>【評価する点】</p> <p>4つの判断基準、5つの視点を明確にすることによって、音楽専門ホールとして幅広い団体の質の高い公演を相応の件数、頻度で誘致できた点を評価したい。</p> <p>【更なる取組を期待する点】</p> <p>アンケート調査の結果なども参照しながら、音楽専門ホールとして、引き続き協力公演を積極的に誘致し、市民や聴衆にとって魅力ある演奏会等を幅広く実現いただきたい。</p>
<p>㊦ 施設運営</p>	<p>【評価する点】</p> <p>企画制作の体制強化がおこなわれるなど、音楽専門ホールの運営だけではなく、独自企画を押し出していこうとする方針がみてとれます。レセプションの育成などにも改めて取り組まれました。</p> <p>【更なる取組を期待する点】</p> <p>大小ホールを使用しない撮影への利用強化に言及されたように、多方面からの利用拡大は今後必須のこととなりそうです。</p>	<p>【評価する点・更なる取組を期待する点】</p> <p>リニューアルオープンに向け、レセプションと公演を統括するマネージャーを採用・配置し、研修等をしたこと、また舞台技術者・設備管理者等との委託契約も結び直した点は評価したい。また音楽練習室のインターネット予約開始や、施設利用料の精算もクレジットカード等が可能になったことも（ようやくという感じは否めないが）一定の前進と評価できる。</p> <p>リニューアル記念事業や横浜音まつりに備え、担当グループ長を配置し企画制作力の強化を図った点は評価できるが、これは翌年以降も継続されるのか（リニューアル記念事業は終わったし、音まつりも3年毎なので）？ 担当内容を変更し、何らかの形で企画制作力の効果を高める専門人材の育成と配置が求められる。</p>	<p>【評価する点】</p> <p>リニューアルオープンに向けて、レセプションやホールスタッフとして採用した人に専門研修と防災訓練を実施するとともに、舞台技術業務・警備業務他について、専門会社と委託契約を交わし適切に管理ができたことは良かったです。</p> <p>また、インターネットでの利用の申込み、さまざまな支払手段での支払など効率化を図ったこと、レセプションルームの利用向上を目指して利用形態に応じた料金設定を行ったことを評価します。</p> <p>【更なる取組を期待する点】</p> <p>ホールを支えるスタッフが気持ちよく働ける環境整備に留意し、その結果スタッフの質の向上につながることを期待します。</p>	<p>【評価する点】</p> <p>●「持続可能で質の高いコンサートホールの運営」を掲げ、リニューアル休業から更新された施設での再稼働には、表方・裏方ともに入念な準備とスタッフの志気維持に大変な努力が必要だったと思います。</p> <p>●現行の運営形態に起因する雇用の制限が、人に蓄積するノウハウの維持・継承を難しくさせる中、最大限の努力と工夫でリニューアルオープンを乗り切ったことを評価します。</p> <p>●ホールの利用料金制度を、変化する利用者のニーズを取り入れて柔軟に運用し、かつ収入増につなげようとする姿勢を評価します。</p> <p>●音楽練習室のウェブ予約、館内Wifiの充実、公演当日に発生する追加利用料等の支払いの電子化など、世間一般では半ば常識になっている利便性をリニューアルを機に導入したこと、併せて発生するデジタルディバイドへの目配りを課題として意識していることを評価します。</p> <p>【更なる取組を期待する点】</p>	<p>【評価する点】</p> <p>音楽練習室のインターネット予約、利用料金の支払い方法の利便性向上などは、業務の効率化と利用者サービス向上の両面で効果が小さくないと思われる。</p> <p>【更なる取組を期待する点】</p> <p>日常的、定型的な業務となりがちなレセプションや舞台技術サービスは、主催、貸館に関わらず観客の鑑賞体験や演奏会の質を確保するために重要な要素であることから、常に緊張感をもって最良のサービスに努めていただきたい。そのためにも、レセプションは指定期間の5年にとらわれず、継続的に起用（雇用）できる仕組みを整えるべきだと考えられる。</p> <p>プロデューサーや広報担当など、経験やノウハウが求められる職種については、さらなる人材育成に努めてほしい。</p>

令和4年度横浜みなとみらいホール指定管理業務評価表（外部評価）

	石田委員	伊藤委員	佐々木委員	箕口委員	吉本委員
Ⅲ 施設管理	<p>【評価する点】</p> <p>Wi-fi 環境の確保など、現代において必須の環境整備がおこなわれました。緊急時対応など、近隣との連携ははかられていることも評価できます。</p> <p>【更なる取組を期待する点】</p> <p>長期改修工事が終わったばかりとはいえ、大規模な施設管理には多くの継続的な改善点があることは明らかですので引き続き市との関係性において、それらについて適切な理解促進をはかれることを望みます。今後も様々な事故対が必要になってくると考えられますので、その際にも適切で迅速な対応が必須となるでしょう。</p>	<p>【評価する点】</p> <p>ライブ配信を可能とする幹線工事や、主催者やスタッフが利用できる Wi-Fi 環境整備といった通信環境を整備したことは評価したい。</p> <p>【更なる取組を期待する点】</p> <p>市の「文化施設における新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」に則った対応は当然のことで、今後は全国的に頻発する大規模災害への対策（訓練だけでなく）を（立地が埋め立て地であることも踏まえ）更に強化していくことが求められる。</p>	<p>【評価する点】</p> <p>出演者、主催スタッフが利用できるWi-fi 環境の整備、ライブ配信を可能とする工事の実施などサービスの充実、防災点検等の対策を図ったことを評価します。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策の強化を横浜市ガイドラインに則して実施したことを評価します。</p> <p>【更なる取組を期待する点】</p> <p>安心、安全第一に考える施設維持管理と、ピアノ等楽器の適切な管理に期待します。</p>	<p>【評価する点】</p> <p>●指定管理者制度導入によりみなとみらいホールの管理者となって以来、貫いてきた、安心・安全を第一に考える施設維持管理の信念の元に、今回のリニューアルに至る一連の業務を計画通りに実施したことを評価します。</p> <p>●音楽専用ホール独自の設備であるオルガン、ピアノなどの楽器コンディション維持を施設管理の重要事項として位置づけ、心を傾けてきたことを評価します。</p> <p>【更なる取組を期待する点】</p> <p>●リニューアルオープンを延期せざるを得ない事態を出来させたスプリンクラー事故については、現在も調査中の由、これに類似した事故がこのところ各地で報告されていることもあり、再発防止に向けての知見を広く共有できるような報告が公開されることを強く望みます。</p>	<p>【評価する点】</p> <p>工事や修繕、備品購入などの煩雑な業務を着実に進めたことが、円滑なリニューアルオープンにつながったものと考えられる。</p> <p>【更なる取組を期待する点】</p> <p>リニューアルオープンにともなう不具合や不備がないか、ハード面、運営面ともに引き続き注視し、観客、出演者双方にとって、安心、安全かつ快適なホールとなるよう、心掛けていただきたい。</p>
Ⅳ 収支	<p>【評価する点】</p> <p>文化庁および神奈川県からの補助金獲得額が目標を上回りました。</p> <p>【更なる取組を期待する点】</p> <p>文化庁等公的資金の獲得は、各館しのぎを削っており、激しい競争状況にあります。政府の政策、振興施策を十分に把握、積極的な方針を示しながら、今後も対応していく必要があり、こうした環境分析が必須でしょう。光熱費の高騰が大きな課題となっています。この点への対応について、市との連絡協力が望まれます。</p>	<p>【評価する点・更なる取組を期待する点】</p> <p>文化庁等の助成金を目標以上に獲得した点や、利用料金収入も予算を上回る実績を上げた点は評価できるが、企業協賛や個人寄付など、より多様な収入源の確保に努められることを期待したい。自己評価にある「新たな発想による財源の開拓」とは具体的に何を考えているのか？ クラウド・ファンディングの活用等は、一時的・短期的な収入増ではなく、中長期的な観点から支援者の裾野を拡げ、将来的な顧客・観客育成に繋がる方向で検討されることを望む。</p>	<p>【評価する点】</p> <p>利用料金収入、企業協賛金および助成金等の収入について、予算額を上回る実績となったことを評価します。</p> <p>【更なる取組を期待する点】</p> <p>自主事業収入（市負担金収入除く）が予算額に対して26%の収入減となったなど、予算と大幅な増減があったときは「説明」欄に理由を記載し、誰が見てもわかる収支報告書の作成をしていただきたいと思います。</p> <p>水道光熱費の上昇をはじめ、物価高騰による支出の増加が見込まれるので、事業資金の確保の工夫を期待します。</p>	<p>【評価する点】</p> <p>●助成金収入が当初目論見を上回ったことは評価に値します。助成金獲得に繋がる活動の充実が伺えます。</p> <p>【更なる取組を期待する点】</p> <p>●所謂「外部資金の獲得」について、金額以外の明確なビジョンと目標を持つことは可能でしょうか。現行の助成金、補助金制度は基本的に自己財源を前提としており、その獲得可能上限は自ずと明らかです。</p>	<p>【評価する点】</p> <p>協賛金・助成金・寄付金が当初予算を上回った点は、外部資金獲得の努力の成果といえよう。</p> <p>【更なる取組を期待する点】</p> <p>決算額が予算額を下回った収入、上回った経費が散見される。自主事業は大型公演の中止を含めた事業の変更が原因とのことだが、収入の拡大、経費節減の努力を怠らないよう、日々の運営にあたっていただきたい。</p>

令和4年度横浜みなとみらいホール指定管理業務評価表（外部評価）

	石田委員	伊藤委員	佐々木委員	箕口委員	吉本委員
<p>Ⅲ その他 各種計画書・報告書の作成及び業務評価</p>	<p>【評価する点】 再開場の際の移転事務などがスムーズにおこなわれたようです。</p> <p>【更なる取組を期待する点】 個人情報漏洩、誤請求などの事故があったとのこと。こうした事象が起きた時には、速やかに適切な措置をとることに加えて、原因の究明と今後のリスク回避の方策徹底が望まれます。</p>	<p>【評価する点】</p> <p>【更なる取組を期待する点】 Ⅱの「音楽専門ホールの提供」でも述べたことの延長になるが、地域文化拠点を目指す上では、優れた公演事業に加えて、学校等との連携による普及活動や他施設やMM地区の企業等との連携を進めていくなど、今日的な文化的課題に対応できる、(昨年箕口委員が紹介した米カーネギーホールのような) 専門人材を確保した新たな組織の模索が求められる。</p>	<p>【評価する点】 改修工事後のみなとみらいホールへの速やかな移転、さまざまな準備業務を遅滞なく完了できたことは良かったです。 また、日報、業務計画書、業務報告書の作成管理をしっかり行っていることを評価します。</p> <p>【更なる取組を期待する点】 円滑な事業運営の実施を期待します。 個人情報漏洩、付帯設備利用料金の誤請求が発生しないよう、原因把握と業務体制の検討、強化を望みます。</p>	<p>【評価する点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●リニューアルを機に、事業評価についての見直しを行い、書式の見直しなどを行った点を評価します。 <p>【更なる取組を期待する点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●一般公開の年次報告書 Annual Report の作成を提案します。通りいっぺんの行政文書ではなく、ホールの姿勢と取組みがポジティブに伝わる年刊マガジンを1年の活動のアーカイブとして位置付け、広く市民にホールの存在意義を知らしめることが、これからの一層必要不可欠になると思います（基本はe-bookで）。 ●指定管理者評価にあたり、資料として提供されている業務報告書と業務評価シートに連動する評価表との有機的な繋がりが見えにくくなりました。各使命とその達成の業務報告にある「定量・定性評価」について、吉本委員が指摘した通り、何をもって目標の達成とするかについての記述に欠けています。また、定量・定性評価を、評価委員がどのように扱うべきかについてのリンクが曖昧です。 具体例として、事業報告 P.7「6 使命の指標の達成状況」(1) 使命1のイ 定性目標にある「事業モニターによる評価」では、どのような仕組みでモニターを行い、その結果と分析などが書かれておらず、大変困惑しました。委員会での質疑応答により、何を行ったかについては口頭で明らかにされました。 次年度以降の整理整頓を期待します。 ●本評価年度において、世間の耳目を集めた2つの事案について、指定管理者選定評価委員会の資料に事実関係を含めて説明が欠けていたことについて、疑問に感じました。市も管理者もこれらの件については、大変な労力をかけていることは、資料になくとも各委員は既知のことであり、当事者として公式記録に遺す詳細説明できる機会にそれを行わなかったことを残念に思います。現在調査中の部分もある由、次年度委員会では説明があることを期待します。 	<p>【評価する点】 改修工事後の建物引き渡しから短期間での事務所移転、備品の準備、オペレーション打ち合わせ、レセプションист募集・研修などリニューアルオープンに伴う準備を着実に進め、10月29日の演奏会の開催、11月からの貸館を円滑に実現できた点は、大きな成果。</p> <p>【更なる取組を期待する点】 個人情報の漏洩や付帯設備利用料金の誤請求は、ホールの信頼を損ねることにつながるため、今後、同じようなミスが発生しないよう、十分に留意して日々の運営にあたっていただきたい。</p>

令和4年度横浜みなとみらいホール指定管理業務評価表（外部評価）

	石田委員	伊藤委員	佐々木委員	箕口委員	吉本委員
総括	<p>ホールにとって大変大きな節目となる、大規模改修からのリニューアルオープンの年となりました。想定外の事象が複数起こる中、適切で迅速な対応の努力がなされたと考えます。今後も、音楽専門ホールにとって大切な鑑賞環境のクオリティ管理とその徹底、再訪したくなる、あるいは定期的に訪れたい会場としての魅力づくりを意識していただきたいと思います。横浜という都市の魅力を最大限に生かす芸術文化活性化拠点としての存在であり続けてください。</p> <p>加えて、市が政策設定した5つの方針と7つの使命への対応については、音楽専門ホールとしての対応モデルを市内他館に対して示せるような運営がおこなわれることを望みます。</p>	<p>休館中のホール外での諸活動と再開への準備、リニューアルオープン後の記念事業、そしてこれまでの活動を更にブラシアップした定番事業への取組など、非常に頑張った1年であったと高く評価する。今後、休館中に取り組んだホール外での活動も含め、その成果を総括し、また新たな取組やブラシアップした定番事業をさらに発展させ、地域文化拠点であると同時に国際的な評価も得られる音楽専用ホールとして一層努力を続けていくことを願っている。</p>	<p>リニューアルオープンに際し、施設整備や維持管理、人員の配置、安全面他多岐にわたり検討実施されたことが評価表から伺えました。令和5年度も引き続き、公演や事業の充実とともに質の維持向上に努めていただきたいと思います。</p>	<p>リニューアルオープンという節目の年度を乗り切り、取り組んだ事業を振りかえれば、四半世紀のレガシーを十二分に活かすリブートをかけてみせた、みなとみらいホールのすべての人々に、心からおつかれさま、ありがとうございました、と申し上げたく存じます。公演視察として見せていただいたジャパン・ナショナルオーケストラや「石田組」公演は、既存のクラシック音楽コンサートの枠組を組み換えていく可能性を、ステージ上にも観客の間にも感じさせるものでした。文字通り「よこはま」から「みらい」を見せる音楽専用ホールの面目躍如です。</p> <p>他方、その業績を十二分に評価できる態勢が整っているかという点については、同じくリニューアルした指定管理者選定評価委員会のメンバーとして忸怩たるものがあります。すでに始まっている2023年度事業にも注目しつつ、よりよい評価が行われるように努力していきたいと考えています。</p>	<p>通常運営とは異なり、リニューアルオープンに向けた各種準備を着実に進め、多彩で質の高い記念事業を実現させたこと、音楽専門ホールとして貸館事業においても一定の質と量を確保できたことなどが、令和4年度の大きな成果であり、それを可能にしたスタッフの皆さんの尽力に敬意を表したい。リニューアル2年目となる令和5年度、さらにその後の年度においても、着実な運営と事業の質的向上に努めていただきたい。</p>

令和4年度 横浜みなとみらいホール 指定管理者業務評価表

評価項目		令和4年度計画		実施状況		評価				
	指定管理者提案(要旨)	取組内容	目標	年間実績	説明	自己評価	行政評価			
I 文化事業										
<p>1 市民が多様な音楽に親しむ機会を提供し、国内外から高い評価を受ける創造・創作の拠点となる</p> <p>対応する使命 使命1: 市民が多様な音楽に親しむ機会を提供し、国内外から高い評価を受ける創造・創作の拠点となります。 使命3: 次世代を担う芸術家や音楽と社会をつなぐ人材を育むとともに、音楽に親しむ市民の裾野を広げます。 使命4: 年齢、性別、国籍、言語、障害の有無、経済的状況等にかかわらず、あらゆる人達が音楽に触れる機会を創出します。 使命6: 大規模改修による長期休館を活かし、横浜みなとみらいホールのプレゼンスの向上を図ります。</p>	<p>1 リニューアルオープン記念事業／横浜音楽祭事業・横浜音楽祭エンディング期間と併せて、多くのみなさまがご来場いただけるよう、祝祭感、話題性を高めるラインナップで実施します。</p>	<p>●リニューアルオープン記念事業：沼尻竜典指揮 神奈川フィルハーモニー管弦楽団 ●ミュージック・イン・ザ・ダーク® ●NHK交響楽団 藤木大地 ●反田恭平 & ジャパン・ナショナル・オーケストラ(横浜音楽祭2022クロージングコンサート) ●アンドリス・ネルソンス指揮 ポストン交響楽団 ●第40回 横浜市招待国際ピアノ演奏会 ●近藤岳オルガン・リサイタル</p>	<p>事業実施</p>	<p>●10/29 リニューアルオープン記念事業：沼尻竜典指揮 神奈川フィルハーモニー管弦楽団 ●11/1 ミュージック・イン・ザ・ダーク® ●11/3 NHK交響楽団 藤木大地 ●11/6 反田恭平 & ジャパン・ナショナル・オーケストラ(横浜音楽祭2022クロージングコンサート) ●11/6 アンドリス・ネルソンス指揮 ポストン交響楽団 ・中高生のための公開リハーサル有 ●第40回 横浜市招待国際ピアノ演奏会 ・11/17 記念特別公演 マルタ・アルゲリッチ & 海老彰子 デュオ・リサイタル(大ホール) ・11/18 小中学生との交流会「ピアニストってどんな人? ~若手アーティストと子どもたちとの交流ワークショップ~」(レセプションルーム) ・11/19 関連レクチャー(レセプションルーム) ①「調律師からの贈り物」~ピアニストと共々生きる密かな喜び~ 講師:大里和人(ピアノ調律師) ②「ポーランド・ロマン主義200年」講師:関口時正(東京外国語大学名誉教授) ・第40回横浜市招待国際ピアノ演奏会(小ホール) レミ・ジュニエ、小林愛実、テオ・フシュレ、石井楓子 ●11/25 近藤岳オルガン・リサイタル</p>	<p>【成果】 1ヶ月にわたって実施したリニューアルオープン記念事業については、「横浜音楽祭2022」との相乗効果も図った結果、国内有数のクラシック音楽専門ホールとして独自の存在感を発揮しました。地元オーケストラ・神奈川フィルによる壮大な音楽での柿落とし、藤木プロデューサーによる企画公演、世界の一流アーティストによる公演、社会包摂事業や次世代育成事業など、多彩かつ鮮度の高い切り口によるラインナップで、何れの公演もお客様から高い満足度を頂きました。</p> <p>特に「プロデューサーinレジデンス」においては、初代プロデューサー藤木大地の発案により、教育機関との連携・全国音楽事業者とのネットワークという2本柱を掲げ、音楽大学学生による新作オペラ上演、みなとみらい発で各都市を巡る室内楽公演の始動など、創造・創作の拠点としての姿を発信することができました。</p> <p>また、リニューアルオープンを機に歴史を積み重ねてきた伝統ある事業の見直し・価値再構築も行いました。「ジルヴェスターコンサート」に代わる公演では石田組を起用。将来音楽家を志す7人の石田組ジュニアとの共演を盛り込んだ次世代育成要素に加え、公演前後に街を楽しむという大晦日の楽しみ方も提案しました。オルガン事業においては、新しくホールオルガニストに就任した近藤岳とともに、「オルガン・1ドルコンサート」の再構築に加え、オルガン音楽をもっと楽しみたい層への「オルガン・1アワーコンサート」新設など、時代のニーズを捉え、新しい切り口から市民が音楽に親しめるよう工夫しました。</p>	<p>【評価できる点】 リニューアルオープンにあたり記念事業を打ち出し、利用者、主催者及び地域に対し、リニューアルの機運醸成を行い、各公演を実施し、新たなスタートがとれたことを評価します。</p> <p>横浜音楽祭との連携や横浜18区コンサートでのアウトリーチ事業では、音楽プログラムの市域での展開にあたり、音楽専門ホールとして、企画や運営の中心的な役割を担ったことも評価します。</p> <p>また、事業の企画運営にあたり、プロデューサーやホールオルガニストとともに、構想や企画段階から実施までを取りまわって他機関との連携事業を行うことで、ネットワークを広げたことを評価します。</p> <p>【更なる取組を期待する点】 他施設・機関との連携によりネットワークを広げることは、ホールからのPRや発信ができ、広く事業展開することに資するもので、引き続き、取り組まれることを期待します。</p>				
							<p>□顧客満足度</p>	80%	83.4%	□顧客満足度 83.4%
							<p>□総入場者数</p>	8,590 人	8,872	□目標達成率103.3%
<p>2 横浜芸術アクション事業 ・横浜音楽祭事業に限らず、次世代育成や普及啓発につながる事業を実施します。</p>	<p>2 横浜芸術アクション事業 ・横浜音楽祭事業に限らず、次世代育成や普及啓発につながる事業を実施します。</p>	<p>●横浜18区コンサート ●沼尻竜典指揮 神奈川フィルハーモニー管弦楽団 ●パイプオルガンと横浜の街 ●プロデューサーinレジデンス ●NHK交響楽団 藤木大地 ●アンドリス・ネルソンス指揮 ポストン交響楽団 ●横浜市招待国際ピアノ演奏会 ●Just Composed シリーズ ●こどもの日コンサート ●心の教育ふれあいコンサート ●金の卵みつけました。 ●ジルヴェスターコンサート(石田組 年末感謝祭) ●クリエイティブ・インクルージョン事業(ミュージック・イン・ザ・ダーク) ●無人オーケストラコンサート</p>	<p>事業実施</p>	<p>●横浜18区コンサート ・広瀬悦子×東京交響楽団メンバー:4/26(戸塚区)、4/27(西区) ・毛利文香・田原綾子×ハマのJACKメンバー:6/21(神奈川区)、6/22(緑区) ・大江馨×東京フィルハーモニーメンバー:7/20(南区)、7/21(港北区) ・河村尚子×読売日本交響楽団メンバー:8/29(都筑区)、8/30(中区) ※休館中の令和3・4年度2年間で18区での公演を実施。 ●10/29 沼尻竜典指揮 神奈川フィルハーモニー管弦楽団 ●パイプオルガンと横浜の街 ・9/30【参加公演】ナイト・フロムナード Vol. 397 @神奈川県民ホール小ホール 山口綾規 ・10/1【関連イベント】昭和初期の非公開西洋館見学@山手133番館 早川幸子 ・10/5【参加公演】フェリスホール・オルガンコンサート「パロック幻想紀行 ~パッパへの道~」@フェリスホール 早島万紀子 ・10/8 大平健介パイプオルガン・コンサート@明治学院大学 ・10/10 ポジティブ・オルガン&パロック・アンサンブルコンサート@横浜海岸教会 宇内千晴、桐山建志、清水愛架 ・10/13【関連イベント】パイプオルガンを弾いてみよう@神奈川県民ホール小ホール 近藤 岳、中田恵子 ・10/15 安 杏葉パイプオルガン・コンサート@捜真学院カンヴァースメモリアルチャペル ●プロデューサーinレジデンス ・11/28 藤木大地と学生がつくるコンサート 音楽劇「天岩戸」 ・2/16 藤木大地&みなとみらいクインテット(ホール以外で4会場にて実施) ※11/3 NHK交響楽団公演は、プロデューサーinレジデンスの一環で実施 ●11/3 井上道義指揮 NHK交響楽団 藤木大地 ●11/9 アンドリス・ネルソンス指揮 ポストン交響楽団 ●横浜市招待国際ピアノ演奏会(前項参照) ●Just Composed シリーズ ・1/28 Just Composed Winter in Yokohama—現代作曲家シリーズ—驚異の声、驚異の言葉—未体験の音空間へようこそ! : 西川竜太、ヴォクスマーナ ・Just Composed 2023 Spring in Yokohama—現代作曲家シリーズ—Shimmering Water—ストーリーーズ:福間洸太郎、目等貴士 ●5/5 こどもの日コンサート ●1/24-2/16 心の教育ふれあいコンサート ●12/18 金の卵みつけました。(ノリストオーディション 6/12、19@楽区民文化センター リリス) ●12/31 ジルヴェスターコンサート(石田組 年末感謝祭) ●クリエイティブ・インクルージョン事業11/1(ミュージック・イン・ザ・ダーク) ●3/25 無人オーケストラコンサート</p>	<p>【課題】 令和4年度はリニューアルオープンと横浜音楽祭が重なり、華やかなラインナップでかつ多彩な事業展開を行うことができたが、今後の市の文化施策の動向に左右されることなく、継続的に芸術文化振興ができるよう事業を企画・展開していくことが課題と言えます。</p>					
						<p>□顧客満足度</p>	80%	90.6%	□顧客満足度90.6%	
						<p>□総入場者数</p>	33,500人	47,008	□目標達成率140.3%	

令和4年度 横浜みなとみらいホール 指定管理者業務評価表

評価項目		令和4年度計画		実施状況		評価	
	指定管理者提案(要旨)	取組内容	目標	年間実績	説明	自己評価	行政評価
3	多様な音楽ジャンルとの連携 ・近隣の施設等と連携し、クラシック以外のジャンルを取り入れます。	●こどもの日コンサート ●おとなポップス		1事業実施	■5/5 こどもの日コンサート 出演：岩村力(指揮)、神奈川フィルハーモニー管弦楽団 ※おとなポップスは、令和5年4月実施(令和4年度は準備)		
		□顧客満足度	80%	94.00%	□顧客満足度94.0%		
		□総入場者数	2,200人	1,592人	□目標達成率72.4%		
4	横浜みなとみらいホールから発信する独自性の高い事業 ・既存の企画でもリニューアルすることによって、よりオリジナリティを打ち出します。 ・同時代の音楽を普及する事業や、ホールの象徴であるパイプオルガンを活用し、市民に音楽を根付かせ、接点をつくる役割を果たします。	●ジルヴェスターコンサート ●オルガンコンサート シリーズ ●Just Composed シリーズ		事業実施	■ジルヴェスターコンサート ・「石田組 年末感謝祭」として実施 ■オルガンコンサート シリーズ ・オルガン・リサイタル:11/25 近藤岳オルガン・リサイタル ・オルガン・ドルコンサート:1/18勝山雅世、3/8山口綾規 ・オルガン・1アワーコンサート:2/10梅干野安未 ■Just Composed シリーズ ・1/28 Just Composed2023 Winter ・3/11 Just Composed2023 Spring		
		□顧客満足度	80%	91.4%	□顧客満足度91.4%		
		□総入場者数	8,100人	7,813	□目標達成率96.5%		

令和4年度 横浜みなとみらいホール 指定管理者業務評価表

評価項目		令和4年度計画		実施状況		評価	
	指定管理者提案(要旨)	取組内容	目標	年間実績	説明	自己評価	行政評価
2 次世代を担う芸術家や音楽と社会をつなぐ人材を育むとともに、音楽に親しむ市民の裾野を広げる 対応する使命 使命3: 次世代を担う芸術家や音楽と社会をつなぐ人材を育むとともに、音楽に親しむ市民の裾野を広げます。	1 若い音楽家の発掘・育成・支援 ・横浜独自のプログラムから若く才能ある、演奏家を発掘・育成・支援することで、横浜みなとみらいホールのプレゼンス向上にもつなげます。	●横浜市招待国際ピアノ演奏会 ●Just Composed ●プロデューサー inレジデンス ●金の卵みつけました。		プロデューサー、ホールオルガニストとの企画実施 若手演奏家・作曲家の起用	<ul style="list-style-type: none"> ■横浜市招待国際ピアノ演奏会 <ul style="list-style-type: none"> ・レミ・ジュニエ、小林愛実、テオ・フシユメ、石井楓子 ■Just Composed <ul style="list-style-type: none"> ・桑原ゆう、茂木宏文(作曲) ■プロデューサー inレジデンス <ul style="list-style-type: none"> ・藤木大地 ■ホールオルガニスト <ul style="list-style-type: none"> ・近藤岳 ■金の卵みつけました。 <ul style="list-style-type: none"> ・若生麻理奈、前田妃奈、橘和美優、中野りな、大澤由俐七、篠崎千響、松木翔太郎(ヴァイオリン) 	【成果】 「こどもの日コンサート」中学生プロデューサーの取組みも2年目となりましたが、昨年度は新型コロナウイルスの影響で、当日の活動ができなかったため、今年度は企画や構成、広報のほか、当日の舞台技術やレセプション業務に至るまで、事業制作のすべてに携わり、また「横浜音祭り2022」の事業の一部でも活躍の場を拡げ、中学生たちにとって非常に充実した経験となりました。	【評価できる点】 次世代育成として、若手演奏家・作曲家の育成、芸術体験の場の創出のほか、公演の企画構成や運営などの事業製作を体験できる場を設けており、公演制作・運営に触れるきっかけづくりを行ったことを評価します。 また、学校とも連携し、吹奏楽部の子どもたちが、プロ奏者の指導を受けられる場を設けるなど、ホールに留まらず、地域における音楽環境の底上げ、裾野を広げる活動の実施も評価します。 【更なる取組を期待する点】 体験型の事業において、模擬公演ではなく、実際に公演運営まで行うことは、長期間に及ぶ事業管理が必要であり、大変なことだと考えます。この取組は児童の職業体験だけでなく、成長にも資する事業であるので、引き続き、取り組まれることを期待します。
		□若手音楽家の起用数	6人	13人	□若手作曲家 2名 □若手演奏家 11名	「ボストン交響楽団」の公演では、中高生を公開リハーサルに招待し、約700人にのぼる中高生に世界のトップクラスのオーケストラの演奏や音楽づくりの様子に間近で触れていただくことができました。	
		□プロデューサー人数	2人	2人	□プロデューサー 1名、ホールオルガニスト1名	「心の教育ふれあいコンサート」も10日間20公演を実施。長期休館に入る直近の同事業では、新型コロナウイルスの影響で、保護者の方や一般の方の来場は叶いませんでしたが、3年ぶりに保護者や一般の方を含む幅広い世代の方が同じ空間でクラシックの生演奏を体験いただくことができました。	
		□総入場者数	4,900人	6,332人	□目標達成率129.2%	「みなとみらいSuper Big Band」は、2013年に誕生してからも結成10年を迎え、横須賀での演奏会やクイーンズスクエアのイベント出演など、活動の幅を年々広げているほか、3月の定期公演では、既にプロとして活躍したり、音楽大学でジャズを続けていたりするOB・OGたちによる演奏も組み込み、今後のさらなる発展を見据えるものとなりました。	
	2 子どもたちや様々な市民が音楽に親しむ事業 ・本格的なクラシックの演奏鑑賞や、プロの奏者による指導を中高生のうちから体験する場を提供するほか、気軽に鑑賞できるコンサートの実施など、音楽に親しむ市民の裾野を広げます。	●心の教育ふれあいコンサート ●みなとみらいSuper Big Band(SBB) ●オルガン・1ドルコンサート ●無人オーケストラコンサート		<ul style="list-style-type: none"> ■1/24-2/16 心の教育ふれあいコンサート ■みなとみらいSuper Big Band(SBB) <ul style="list-style-type: none"> ・コンサート8/12、3/17 ・横濱JAZZ PROMENADE 10/8 街角ライブ出演 ・アートフォーラムあざみ野ロビーコンサート 10/23出演 ・ヨコスカ・モダチジャズ 11/6出演 ・クイーンズスクエア横浜ツリー点灯式11/4卒業生出演 ・吉野町市民プラザクリスマスコンサート 12/11出演 ■オルガン・1ドルコンサート 1/18、3/8 ■無人オーケストラコンサート 3/25 ■10代のためのバイブオルガンレッスン12/4-3/29 <ul style="list-style-type: none"> ・講師:近藤岳 レッソンは大ホール及び関内BELUGAで実施。小学校6年生から高校2年生までの6名が参加。3/29修了演奏会 	<ul style="list-style-type: none"> ■1/24-2/16 心の教育ふれあいコンサート ■みなとみらいSuper Big Band(SBB) <ul style="list-style-type: none"> ・コンサート8/12、3/17 ・横濱JAZZ PROMENADE 10/8 街角ライブ出演 ・アートフォーラムあざみ野ロビーコンサート 10/23出演 ・ヨコスカ・モダチジャズ 11/6出演 ・クイーンズスクエア横浜ツリー点灯式11/4卒業生出演 ・吉野町市民プラザクリスマスコンサート 12/11出演 ■オルガン・1ドルコンサート 1/18、3/8 ■無人オーケストラコンサート 3/25 ■10代のためのバイブオルガンレッスン12/4-3/29 <ul style="list-style-type: none"> ・講師:近藤岳 レッソンは大ホール及び関内BELUGAで実施。小学校6年生から高校2年生までの6名が参加。3/29修了演奏会 	また、2022年4月よりホールオルガニストに就任した近藤岳による、次世代育成プログラムも始動しました。横浜の文化資源ともいえるオルガンに触れ・演奏機会をつくる目的で、高校生以下の10代を対象とした「10代のためのオルガンレッスン」をスタート。練習成果を大ホールのバイブオルガン・ルーシーで披露しました。	
		□子ども参加人数(心の教育)	20,000人	26,140人	□児童のみの参加人数26,140人。	さらに、吹奏楽発祥の地として、プロ奏者が市内中学校吹奏楽部の子どもたちに直接指導し、発表機会を設けた「吹奏楽部応援プロジェクト！」も開催。ともに音楽を奏でる喜びとプロフェッショナルの音楽を間近で体験できる特別な機会を提供しました。	
		□Super Big Band参加者数	40人	39人	□年度を通して39名の参加	【課題】 「中学生プロデューサー」は、回を重ねるごとに中学生が関わる度合いが大きいものとなってきており、継続実施していくための仕組みづくりが重要となります。	
		□総入場者数	24,200人	33,238人	□コンサートの入場者目標達成率137.3%		
	3 芸術家や音楽と市民をつなぐ人材の育成 ・音楽を通じて人や社会との交流の豊かさを育み、社会の中での音楽の持つ力を意識する人材を育成します。	●プロデューサー in レジデンス(P in R) ●ホールオルガニスト ●中学生プロデューサー		5プロジェクト インターン受入1	<ul style="list-style-type: none"> ■プロデューサー in レジデンス <ul style="list-style-type: none"> ・洗足学園音楽大学との連携 ・他都市連携 ■ホールオルガニスト <ul style="list-style-type: none"> ・次年度インターンシップ受入準備 ■中学生プロデューサー <ul style="list-style-type: none"> ・東洋学園産学連携プロジェクト ・現代経営学部「マーケティングとメディア研究ゼミ」(八塩圭子教授)との連携 <ul style="list-style-type: none"> →エントランスロビーに当館バイブオルガンをモチーフとしたトリックアートを設置し、来館者にフォトスポットしてアピール。 →オリジナルクリスマスカード配布、フェアトレードチョコレートのプレゼント(抽選)、ツリーやポインセチアなど館内のクリスマス装飾を企画 ■インターン <ul style="list-style-type: none"> ・昭和音楽大学インターン1名受入(8/25-11/17) 		
		□プロデューサー ホール外での連携数	3件	4件	□「藤木大地&みなとみらいクインテット」公演:ホール外の4会場実施		
		□中学生プロデューサー 参加者数	25人	第2期 27人 第3期 30人	□令和4年度27人		

令和4年度 横浜みなとみらいホール 指定管理者業務評価表

評価項目		令和4年度計画		実施状況		評価	
	指定管理者提案(要旨)	取組内容	目標	年間実績	説明	自己評価	行政評価
3 年齢、性別、国籍、言語、障害の有無、経済的状況等にかかわらず、あらゆる人達が音楽に触れる機会を創出する	1 社会包摂事業 ・障がいの有無にかかわらず、誰もが音楽の楽しさを享受できる事業を実施します。	●ミュージック・イン・ザ・ダーク ●だれでもピアノ ●OriHime ●リニューアル内覧会(特別支援学校等向け)			■11/1 ミュージック・イン・ザ・ダーク ・公演に先立ち、「鑑賞ガイド」実施32人参加 ■だれでもピアノ ・3/21 シニア体験会実施。加えて神奈川大学学生のファンリレーター養成講座実施 ■OriHime ・11/6公演にて、ホワイエにて設置 ■特別支援学校等向けリニューアル内覧会は、中止となったが、3/25無人オーケストラ公演に、特別支援学校の生徒が参加	【成果】 「ミュージック・イン・ザ・ダーク」では、視覚障がいのある演奏家と視覚障がいのない演奏家によるアンサンブルの演奏で、来場者にも視覚に障がいのある方が多数来場し、ホール内の照明をすべて消した暗闇の中で音楽そのものを享受する内容となりました。公演前の鑑賞ガイドや公演冒頭の説明などを通じて、障がいについて、音楽について深く考えるきっかけを提供しました。	【評価できる点】 「ミュージック・イン・ザ・ダーク」では、障害の有無によらず、誰もが演奏を楽しむことができる事業に取り組み、また、「だれでもピアノ」を利用し、高齢者を対象とした演奏体験を行う機会を設けるなど、多様な方が音楽を楽しみ、体験できる事業を実施したことを評価します。
		□顧客満足度	80%	93.7	□顧客満足度93.7%	「だれでもピアノ」では、次年度に実施予定である“高齢者のウェルビーイングのためにピアノを弾くという体験が前向きな感性に与える影響についての調査”のイベントとして、シニア体験会を実施し、今後の展開につながりました。	【更なる取組を期待する点】 様々な視点での事業実施は、誰もが音楽を楽しむことができるよう、現在の障壁を取り除くこと寄与しており、引き続き、取り組まれることを期待します。 また、横浜WEBステージでのコンテンツ充実、ホールを基軸に広く発信もできるものであるため、引き続き、取り組まれることを期待します。
		□総参加者・入場者数	650人	678人	□目標達成率104.3%		
4 年齢、性別、国籍、言語、障害の有無、経済的状況等にかかわらず、あらゆる人達が音楽に触れる機会を創出します。	2 横浜みなとみらいホールらしいインクルージョン事業 ・インクルージョンを広く捉え、いつでもどこでもだれでも音楽を体験できる取組みを行います。	●横浜WEBステージ ●横浜みなとみらいホール公式チャンネルのコンテンツ充実			□横浜WEBステージ ・新規コンテンツ3 ・動画コンテンツ総数142/再生数3,464,153(R4:339,642) ■横浜みなとみらいホール公式チャンネルのコンテンツ充実	さらに「心の教育ふれあいコンサート」「無人オーケストラ」への特別支援学校の来場や、学校アウトリーチでの個別支援級でのプログラムなど、あらゆる人たちが音楽に触れる機会を子どもたちも含め提供することができました。	
		□視聴数		239,662回	□R4新規コンテンツ視聴数:237,853 ※横浜WEBステージ+公式Youtubeチャンネル		
5 新型コロナウイルス感染症の影響が長期化した場合には、徹底した感染防止対策の下で、安全に自主事業及び貸館業務を実施し、市民の文化活動の基盤として、施設運営を継続します。	3 横浜市内中学校との連携事業 ・学校との連携により、子どもたちが音楽に触れる機会を提供します。	●横浜市芸術文化教育プラットフォーム 学校プログラム			□横浜市教育プラットフォーム事業 ・4校実施/筆体験1(3日間)、筆鑑賞(1日)、ジャンベ体験(3日間)×2校 □吹奏楽部応援プロジェクト/ばんだウインドオーケストラ講師によるワークショップ ・1/22 上菅田中学校吹奏楽部 ・2/5 中川西中学校吹奏楽部 ・2/26 クイーンズスクエア横浜 クイーンズサークルにて演奏共演 ■1/18 横浜市教育プラットフォーム 教師のためのワークショップ	【課題】 社会的意義があるが大きな収益を生まない社会包摂事業について、今後の継続性が課題です。	
		□学校数	4校	4校	□横浜市教育プラットフォーム学校プログラム 4校 □吹奏楽部応援プロジェクト 2校		
6 大規模改修による長期休館を活かし、横浜みなとみらいホールのプレゼンス向上を図る	1 横浜みなとみらいホールの音を様々な場所に届ける ・横浜みなとみらいホールらしさを取り入れた演奏会やリニューアル後のホールへの来館を促進する事業を実施します。	●横浜18区コンサート ●パイプオルガンと横浜の街			■横浜18区コンサート ・広瀬悦子×東京交響楽団メンバー:4/26(戸塚区)、4/27(西区) ・毛利文香・田原綾子×ハマのJACKメンバー:6/21(神奈川区)、6/22(緑区) ・大江馨×東京フィルハーモニーメンバー:7/20(南区)、7/21(港北区) ・河村尚子×読売日本交響楽団メンバー:8/29(都筑区)、8/30(中区) ※休館中の令和3・4年度2年間で18区での公演を実施。 ■パイプオルガンと横浜の街 ・9/30【参加公演】ナイト・プロムナード Vol. 397 @神奈川県民ホール小ホール 山口綾規 ・10/1【関連イベント】昭和初期の非公開西洋館見学@山手133番館 早川幸子 ・10/5【参加公演】フェリスホール・オルガンコンサート「バロック幻想紀行 ～パツハへの道～」@フェリスホール 早島万紀子 ・10/8 大平健介パイプオルガン・コンサート@明治学院大学 ・10/10 ポジティブ・オルガン&バロック・アンサンブルコンサート@横浜海岸教会 宇内千晴、桐山建志、清水愛架 ・10/13【関連イベント】パイプオルガンを弾いてみよう@神奈川県民ホール小ホール 近藤 岳、中田恵子 ・10/15 安 杏葉パイプオルガン・コンサート@捜真学院カンヴァースメモリアルチャペル	【成果】 大規模改修による長期休館を活かし、横浜みなとみらいホールらしいホールのプレゼンス向上を図るため、横浜ゆかりのソリストと室内楽編成による「横浜18区コンサート」を横浜みなとみらいホールの出張コンサートとして市民の方に身近な8つの会場で実施し、昨年度の10会場と合わせ、横浜市内18区で音楽を届けることができました。横浜みなとみらいホールの周知にもつなげる事業であるとともに、市民の方々が身近な地域を知ることにもつながるものとなりました。	【評価できる点】 休館中にアウトリーチ事業として、横浜18区コンサート等を身近な地域で公演を行うことで、各地域でのPRを行ったことを評価します。
		□顧客満足度	80%	88.1%	□顧客満足度88.1%	【更なる取組を期待する点】 ウェブサイトは利用者が情報を得るきっかけとなるものなので、効果的な広報、情報発信を進めることを期待します。	
		□総入場者数	2,800人	2,630人	□目標達成率93.9%	【課題】 休館中の各区や地域との連携を継続していく取組みも検討します。	

令和4年度 横浜みなとみらいホール 指定管理者業務評価表

評価項目		令和4年度計画		実施状況		評価	
	指定管理者提案(要旨)	取組内容	目標	年間実績	説明	自己評価	行政評価
5 海の見えるコンサートホールの発信力強化 対応する使命 使命1:市民が多様な音楽に親しむ機会を提供し、国内外から高い評価を受ける創造・創作の拠点となります。 使命6:大規模改修による長期休館を活かし、横浜みなとみらいホールのプレゼンスの向上を図ります。	1 媒体戦略	プレス関係者とのネットワークを維持し、タイムリーに情報をリリースする	プレス訪問やオンラインミーティングを持つことでつながりをさらに強いものとし、また丁寧な情報提供をタイムリーに発信します。	実施	通年実施	■通年で情報をリリース	【成果】 休館中に定めたコンセプト・スローガンや新規構築した公式Webサイト活用、「横浜音楽祭2022」と連携した街なかPR、プレス懇談会開催等により、ホールのリニューアルオープンのみならず、今後の取組みや目指す姿についても発信しました。特に、SNSは戦略的かつ計画的に活発な発信を行い、目標を上回るフォロワーを獲得。日頃からメディアとの関係構築も積極的に行い、プレス懇談会後の多方面への掲載につなげました。また、ミュージックシティ構想に参画する唯一のクラシック音楽専門ホールとして、エリア内でも一定のプレゼンスを発揮しました。 また、新たな公式ウェブサイトと会費無料の登録制ウェブ会員制度「ウェブフレンズ」を発足させ、情報拡散と販売の強化を図るとともに、地域のホテル等と連携する等、魅力的な会員特典の提供に努めました。 【課題】 メディアとの関係継続の他、メールマガジンやSNS運用については、引き続き事故のない発信を行っていきます。また、ウェブフレンズ会員の会員数や反応に注視し、効果的な広報や券売につながる情報発信を模索します。
		再開館時の内覧会にプレス、関係者に加え、インフルエンサーを招待して、幅広いメディアへの露出を目指す	□記者発表会開催 □記者内覧会開催	各1回	記者発表会1回 プレス懇談会1回 内覧会代替1回	■メディア向けの内覧会や事業の発表会を実施 7/12 記者発表会開催@横浜ベイホテル東急 クイーンズ グランド ボールルーム 2/14 プレス懇談会 『スプリングラール事故により中止 『新しいホールを体感する見学会』 10/22,23「体感できるProgram」 10/25,26「無人オーケストラコンサート」 後者については日程を変更し実施。 ■3/25 「無人オーケストラコンサート」 (3/24 同プレス発表会)	
		休館中のアウトリーチ公演等で、基礎的な情報を発信して再開館への期待を醸成し、新たなファンをつくる	18区コンサートなどにおけるPR活動実施	実施	実施	■アウトリーチ実施時にリニューアルオープンについて告知。	
	2 オウンドメディアの活用	公式ウェブサイトのユーザビリティ向上を図る更新	分析ツールを用いた調査・専門業者によるフィードバックを定期的に行いユーザビリティの向上を目指します。	実施	実施	■ウェブサイト更新	
		公式TwitterなどSNSの運用	SNSの特性を生かした発信でユーザーとのコミュニケーションを図りホールブランディングに寄与する運用を心がけます	実施	実施	□フォロワー数 Twitter 10,594 Instagram 778	
		ブログシリーズの配信	館長対談シリーズ プロデューサーinレジデンス	実施	実施	■ブログシリーズの配信(22回) ・5/2 中学生プロデューサー活動日誌⑤ ・5/13 中学生プロデューサー活動日誌⑥ ・5/20 レセプションリスト～おもてなしの心でお客様をお迎える ・6/1 《アルプス交響曲》～楽器を巡る ・6/28 オルガン“Lucy”のオーバーホールに潜入！ ・9/1 居留地にパイプオルガンがやってきたーパイプオルガンと横浜の街①ー ・9/15 光のオルガン “Lucy(ルーシー)” への道ーパイプオルガンと横浜の街②ー ・9/20・27 『アンドリス・ネルソンス指揮/ボストン交響楽団』中高生のための公開リハーサル 事前ガイド 前後編 ・10/19 “Lucy(ルーシー)”をご存じですか？ ・10/29 館長と語ろう#3 沼尻竜典×藤木大地×新井鷗子 ・11/10 横浜みなとみらいホール第2代ホールオルガニスト 近藤 岳さんに聞きました。 ・11/22 「音楽劇《天岩戸》」ができるまで ・11/25 「音楽劇《天岩戸》」稽古の様子 レポート！ ・1/11 [2022年度コンサートカレンダー冬号掲載] 福間 洸太郎(ピアノ)インタビュー ・1/17 2/10開催「第1回 オルガン・1アワーコンサート」出演の梅干野安未さんよりメッセージをいただきました。 ・1/19 中学生プロデューサー 第3期生の活動がスタート！ ・1/30 中学生プロデューサー 活動レポート1 ・3/27 吹奏楽部応援プロジェクト！ ばんだウインドメンバーによる吹奏楽ワークショップ&演奏会を実施しました ■外部記事へのリンク配信(6回) ぶらあぼ、ONTOMO等	
		新規SNSの運用	公式Instagramの開設、公式YouTubeの開設	実施	実施		
		メルマガ、定期発行物の製作	□「コンサートカレンダー」を3か月毎に作成し、市内350か所に定期的に配布 □メールマガジンを作成し、定期的に登録者に配信	□2回 □36回	カレンダー3回 (2023年度年間カレンダーを含む) メルマガ31回	□コンサートカレンダー 3回発行 □メルマガ 31回配信	
		ホールが存在意義や進むべき方向を再設定する	ホールコンセプト策定と周知	実施	実施	■リニューアル記念事業等とともに、ホールコンセプトのPRを実施。	
	3 顧客創造のための「広場」づくり	有料会員制度から無料の登録制ウェブ会員制度への移行	□新制度の立ち上げ(3月登録開始、4月より運用)	実施	実施	□無料登録制ウェブ会員 20,036人	
		顧客の嗜好を分析し、満足度向上と社会的価値を感じられる関係づくり	□ウェブ会員に向けてアンケート 年1回 □ウェブ会員イベントの開催 年1回 □ウェブ会員へチケット情報や特典付きのメールマガジンを定期的に配信 年12回	実施	実施	■計画通り実施。 先行販売、一部公演の割引の他、近隣連携による特典を提供。 ヨコハマ グランド インターコンチネンタル ホテル、横浜ベイホテル東急、横浜ロイヤルパークホテルの飲食割引、よこはまコスモワールドの料金割引。	
		ウェブ情報を得られない顧客に、チラシ郵送サービスを別途提供する	□年4回	実施	実施	■チラシ郵送サービス実施	

令和4年度 横浜みなとみらいホール 指定管理者業務評価表

評価項目		令和4年度計画		実施状況		評価			
	指定管理者提案(要旨)	取組内容	目標	年間実績	説明	自己評価	行政評価		
6 周辺施設と多彩な音楽連携にむけて 対応する使命 使命5: 利用者の視点に立ち、持続可能性を高める施設運営を行い、地域社会に貢献します。	1	みなとみらい21地区に集積する音楽施設を活かす クラシック音楽、生音の音楽の魅力発信を強化	■みなとみらい21地区の「ミュージックシティ」推進に協力する。	協力	協力	■推進委員会への出席	【成果】 音楽の専門性を活かし、近隣施設との連携では、2件の企画提供を行いました。 また「ウェブフレンズ」のメルマガ特典についても近隣ホテル等との連携で提供しました。 【課題】 ・クイーンズサークル休止中の展開 ・みなとみらい21地区40周年のテーマでもある「Music Port Yokohama」に対して、地区唯一のクラシック/アコースティック専門ホールとして存在感を示していく必要があります。	【評価できる点】 近隣施設との連携により、事業の企画提供及びホテルのレストラン割引など、みなとみらい21地区の賑わいや回遊性に寄与する取組を行ったことを評価します。 【更なる取組を期待する点】 近隣施設との連携は、地区の回遊性が高まり、施設同士に相乗効果があることから、引き続き、取り組まれることを期待したい。	
	2	近隣連携して町の賑わい創りに貢献し、町で働く方々と居住者が交流する場をつくる	近隣商業施設やYMM21と連携したイベント実施	2事業	みなとみらいSTREET MUSICへの協力実施 連携事業2事業	■みなとみらいSTREET MUSIC審査への協力 ■12/16【企画制作】お城EXPO 2022 プレミア前夜祭@パシフィコ横浜『NINJA BRASSとお忍びの姫君 スペシャルコンサート』(東京交響楽団メンバー) ■2/26【企画制作】横浜みなとみらいホールPresents MUSIC DAY@クイーンズサークル 横浜市立中川西中学校吹奏楽部 with ばんだウインドオーケストラメンバー、横浜市立上菅田中学校吹奏楽部 with ばんだウインドオーケストラメンバー、みなとみらいSuper Big Band			
	3	近隣するパシフィコ横浜と連携した、立地特性を活かすMICE連携	アフターコンベンション企画・演出を提案	■R4は検討のみ	検討	検討			■次年度以降に向け検討。
	4	横浜の特色ある企業との連携	企業連携による音楽講座やレクチャーコンサートの継続開催 地域の商店や企業との関係を構築し、回遊性やプロモーション連携、事業連携実施を目指す	■次年度以降の実施に向け計画する。 ■地域の企業や商店等との連携手法を検討する。	次年度に向け計画	検討			■次年度以降に向け検討。 ■引き続き検討 !実施企画 ・10/21-11/30 横浜ロイヤルパークホテルでの横浜みなとみらいホールのリニューアルオープンを記念したコラボレーションランチを提供。公演の半券を提示すると、コラボレーションメニューをはじめとしたレストランでの飲食代の10%割引を実施。また「ウェブフレンズ」メルマガでも割引クーポンを配信。

II 音楽専門ホールの提供								
1 協力公演の誘致 対応する使命 使命2: 市民や文化団体の音楽活動を支え、音楽専門ホールとしての活動の場を提供します。 使命3: 次世代を担う芸術家や音楽と社会をつなぐ人材を育むとともに、音楽に親しむ市民の裾野を広げます。	1	4つの判断基準・5つの視点によるアプローチ 【4つの判断基準】 ・国内プロオケの定期演奏会 ・地域を中心とした音楽事業者・団体 ・シティーセールス、周辺地域との連携 ・公共性 【5つの視点】 ・質の高い音楽 地域の音楽団体が実施するクラシック音楽演奏会 ・演奏家を応援 若手演奏家公演、コンクール等 ・多様な音楽 クラシック以外の多彩なジャンルを紹介 ・身近な音楽 吹奏楽や合唱フェス等、身近な人を応援する場 ・市内フェスティバル 横浜市の文化政策と連動した事業	■協力公演の判断基準を満たす公演を積極的に支援し、優れたコンサートを市民に提供	実施	大ホール 45事業 48公演 小ホール 13事業 23公演	■リニューアルオープン後、計画通り実施。 10月 大ホール1事業1公演 11月 大ホール8事業/9公演 小ホール5事業/13公演 12月 大ホール17事業/19公演 小ホール2事業/3公演 1月 大ホール9事業/9公演 小ホール3事業/3公演 2月 大ホール6事業/6公演 小ホール1事業/2公演 3月 大ホール4事業/4公演 小ホール2事業/3公演	【成果】 ・当館の協力公演誘致を行うための「4つの判断基準」および「5つの視点」に基づき、リニューアルオープンする当館にふさわしい国内の質の高い公演を積極的に誘致しました。 ・新たに発足した顧客制度「ウェブフレンズ」登録者に対して、メールニュースやTwitterを活用して誘致した公演の魅力を発信し先行チケット予約サービスを実施するなど協力公演のPRIに寄与しました。 ・ご利用者様の満足度をはかりサービス向上につなげるため大ホール、音楽練習室のご利用者様を対象にアンケートを実施しました。 【課題】 リニューアルオープン当時施設や設備の不具合が発生しましたが、速やかに主催者と情報を共有し丁寧にご説明することで状況をご理解いただくよう努めました。引き続き天災や施設事故発生時の折の速やかな状況把握と情報伝達が課題です。	【評価できる点】 協力公演誘致を積極的に行い、リニューアル後に多くの公演を実施したことを評価します。 【更なる取組を期待する点】 施設利用者へのアンケート実施は、ニーズ把握に良い取り組みです。その情報の分析を行い、サービス向上や改善につなげることで、さらなるコーディネーター機能の発揮に期待します。
2 コーディネーター機能を発揮 対応する使命 使命2: 市民や文化団体の音楽活動を支え、音楽専門ホールとしての活動の場を提供します。	1	リピーターの利用状況を把握・蓄積して要望を的確に把握し、安全の確保や提案につなげる	市内音楽団体の活動状況把握	検討 (R5年度に着手)	検討	令和5年度に着手予定。	【課題】 リニューアルオープン当時施設や設備の不具合が発生しましたが、速やかに主催者と情報を共有し丁寧にご説明することで状況をご理解いただくよう努めました。引き続き天災や施設事故発生時の折の速やかな状況把握と情報伝達が課題です。	
2	専門性を生かした細心のサポートでお客様の要望に対応	利用下見、相談件数	□年間50件(下見は再開館後から開始)	実施	56件	来館しての相談件数のみカウント。電話、メールでの相談は含まず。		
3	演奏会の広報協力	公式WEBサイトで、コンサートカレンダー情報として公開	■ホームページにて公演情報を掲載	実施	実施	■計画通り実施。		
4	演奏者の紹介	大ホールのパイプオルガンの個性を生かすアーティストを紹介	■当ホールのパイプオルガンに精通したオルガニストを紹介	実施	通年実施	■計画通り実施。		
5	利用者ニーズを把握し、利用者の拡大、サービス向上につなげる	利用者アンケートの実施	■アンケート実施 (n=50)	実施	実施	■練習室、ホール利用者へのアンケート実施		

令和4年度 横浜みなとみらいホール 指定管理者業務評価表

評価項目		令和4年度計画		実施状況		評価	
	指定管理者提案(要旨)	取組内容	目標	年間実績	説明	自己評価	行政評価
Ⅲ施設運営							
<p>1 利用促進及び利用者サービスの向上</p> <p>対応する使命 使命2: 市民や文化団体の音楽活動を支え、音楽専門ホールとしての活動の場を提供します。</p> <p>使命3: 次世代を担う芸術家や音楽と社会をつなぐ人材を育むとともに、音楽に親しむ市民の裾野を広げます。</p> <p>使命5: 利用者の視点に立ち、持続可能性を高める施設運営を行い、地域社会に貢献します。</p>	<p>持続可能で質の高いコンサートホールの運営</p>	ホールレセプションサービス	■公演種別に応じた柔軟な人数配置 ホール公演の責任者として公演マネージャーを配置	実施	実施	■計画通り実施。 4-6月 募集 7月 面接審査 10月～ 公演マネージャー、レセプション配置	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホール運営のうち小ホール運営に係るサービス提供範囲を変更しました。変更の際には変更点についてご利用者様へ丁寧な説明を行っています。 ・80名に上るレセプションと公演を統括するマネージャーを公募により採用しました。レセプションについてはオープンに備えて専門研修と防災訓練を実施しました ・リニューアルオープンに際して舞台技術業務、設備運転監視および清掃業務、警備業務について、専門会社と委託契約を交わし適切に管理を行っています ・再開館後は公演開催時エントランスに警備員を常時配置し表周り、裏周りの警備の強化をはかっています ・8月から音楽練習室のインターネット予約を開始し受付事務の効率化を実現しました。2023年7月現在、1700件を超える個人、団体にご登録いただきウェブシステムを活用いただいています。 ・施設利用料金の支払に際しては銀行振込のほかコンビニ支払い、当日の附帯設備利用料の精算に際しては、現金に加え、クレジットカード、ICカード、電子マネー決済などに対応し効率化をはかっています <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホールの持続可能な運営実現のためウェブサイトなどを活用した利用の効率化を進めています。インターネット環境の無い一部の方へのサービス提供が課題です <p>【評価できる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リニューアルオープンに向け、再度レセプション等をホールスタッフとして採用するための採用活動や研修、教育を行ったこと、及び管理運営体制を整えたことを評価します。 ・また、ウェブサイトを更新し、音楽練習室のインターネット予約を開始したことは利用者の利便性向上及び予約事務効率化になるため、評価します。 <p>【更なる取組を期待する点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理運営や利用料金徴収については、定型業務化されがちな手続きですが、日々の課題などを基に、引き続きより良いサービス提供に向けた取組を行うことを期待します。
		舞台技術サービス	■更新された舞台照明、音響設備の適切な運用	実施	実施	■計画通り実施。 6月 業者選定 7月 契約 8月～ 舞台技術員常駐開始	
		ホール運営サービス	■利用種別に応じた、平台のセッティングをわかりやすく紹介 (R8までに実施)	検討	検討	■新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインおよびに沿った内容での合唱ひな壇上の人数配置の見本を作成した。また、実際のセッティング作業の様子がわかる写真・動画等の作成を検討。	
		警備業務の強化	■公演中に警備員を増員し、危険防止と危機管理を強化	実施	実施	■計画通り実施。 6月 業者選定 7月 入札実施 8月～ 警備員常駐開始 10月～ 公演時立哨開始	
		スチール撮影、動画撮影へのニーズへの柔軟な対応、利用者支援	■撮影場所や方法について案内	実施	実施	■3/5、9 日本テレビ系列ドラマ「リバーサルオーケストラ」(放送:2023年1/11-3/15)の最終回撮影利用を受け入れ。「リバーサル…」は新井館長が監修を務め、演奏には神奈川フィルが協力した。	
		利用者の利便性の向上	■①抽選対象となる一般利用可能日を公式WEBで公開 ■②土日の施設空きについて、WEBで周知 ■③代行抽選を導入 ■④音楽練習室のWEB予約を導入	実施	実施	■計画通り実施。 4月～ ①～③実施 8月～ ④(音楽練習室のWEB予約)開始	
	2 利用料金の考え方と料金設定	レセプションは本公演(おおむね3時間まで)の際に配置	■大ホール A型、B型のフロア構成に応じた基本配置 ■小ホール 各階の保安管理に1名ずつ計3名 追加配置は、1名1,300円/時間	実施	実施	■計画通り実施。	
		延長料金	■大ホールの延長料金は30分単位で柔軟に対応する	実施	実施	■計画通り実施。	
		公演ホール利用料金の割引	■大ホール1階客席のみを利用 30%割引 準備・片付け、リハーサル利用 50%割引 全日3区分を本公演で利用 10%割引	通年	通年実施	■計画通り実施。	
	3 利用しやすい支払方法と減免	大小ホール 利用料金の支払い	■利用決定時と利用4か月前の2分割払い 原則、銀行及びコンビニ支払い	通年	通年実施	■計画通り実施。	
		大小ホール 附帯設備料金の支払い	■原則、当日利用終了後の支払い 現金に加え、クレジットカード、ICカード決済などに対応	実施	実施	■計画通り実施。	
		レセプションルーム 大小ホールの控室利用等の減免	■リハーサル室と同額料金を減免	実施	通年実施	■計画通り実施。	
減免等の運用		■横浜市主催事業 20%減免 ホール主催事業 全額減免 ホール共催事業 一部もしくは全額を減免 ■パイプオルガンのオルガン専攻授業減免 5回まで ホール及びパイプオルガン利用料を減免 パイプオルガンのレジストレーション 1公演につき2区分までホール利用料を減免	実施	通年実施	■計画通り実施。 横浜文化賞贈呈式・記念コンサート、クラシック・ヨコハマ関連、市立学校の利用(吹奏楽部定期演奏会等)等で適用。 ■計画通り実施。 フェリス学院大学、昭和音楽大学・昭和音楽大学短期大学部がオルガン科授業で利用。		
4 利用取消	利用キャンセル時の取消料	■利用決定から3か月前まで 既納料金の70% 直近3か月以降～当日 既納料金の100%	通年	通年実施	■計画通り実施。		
	利用施設や利用内容一部変更時の取消料	■一律に取消料を徴収せず、変更後利用料金に充当	通年	通年実施	■計画通り実施。		

令和4年度 横浜みなとみらいホール 指定管理者業務評価表

評価項目		令和4年度計画		実施状況		評価		
指定管理者提案(要旨)		取組内容	目標	年間実績	説明	自己評価	行政評価	
2 組織的な施設運営 対応する使命 使命5: 利用者の視点に立ち、持続可能性を高める施設運営を行い、地域社会に貢献します。	1 専門性が高く、かつ効率的な組織体制	適切な勤務シフトの策定	■3シフト制を基本とし、効率よく開館時間をカバーする	通年	10月以降実施	■計画通り実施。 ～10/19 平日9:00-17:45の勤務 10/20～ 様々なご利用、開演/終演時間に対応するため、A:8:45-17:30 B:10:00-18:45 C:13:15-22:00の3シフトで勤務。	【成果】 横浜音まつり及びリニューアル記念事業に備え、事業企画グループにはグループ長に加え担当グループ長(チーフプロデューサー)を配置、企画制作力の強化を図りました。 また、これまで経営グループの傘下に配置していた広報チームを事業企画グループに位置づけることで、公演の魅力や出演者の横顔をダイレクトに伝えることができるようになりました。 一方で再開館に向けてレセプション、受付スタッフ、チケットセンターなどホールを支えるスタッフを経営グループで効率的に一元管理しています。 【課題】 半数以上が未経験者で構成されるレセプションの質の向上、雇用年限に限りのあるスタッフの雇用管理が持続可能なホールの運営上の課題となっています。	【評価できる点】 組織体制として、事業企画グループや広報チームの配置調整を行うことで、事業の企画制作及び広報・PRの体制強化をし、多くの事業実施、情報発信を行ったことを評価します。 【更なる取組を期待する点】 プロデューサーの育成についても、ホールの専門性や企画を担う専門人材となるため、継続的な体制を取れるよう、引き続き、育成を行うことを期待します。
		効率的な施設運営	□代表電話受付を10時から18時を基本とし、他の時間帯はメール等に対応	通年	10月以降実施	■計画通り実施。 ～10/20 代表電話 10-17時(平日)及びメール対応 10/21～ 代表電話 休館日・施設点検日を除く9-18時及びメールでの随時対応		
	2 円滑な管理運営のための各種会議の実施	ホール内の情報共有	□責任者会議 週1回	実施	実施	■グループ長会議は原則週1回実施		
			□全体会議 月1回	実施	未実施	！変更 休館前、企画運営会議メンバー(下記)と委託業者3者を含めた全体会議を行っていたが、各業者と担当部署との定例会議に変更した。		
			□企画運営会議 週1回	実施	実施(年間50回)	■グループ長、チームリーダーによる会議を原則週1回実施		
			□広報会議 隔週1回	実施	実施	■計画通り実施。		
		QSY内の情報共有	□QSY管理組合事務局会議への参加	実施	実施	■原則月1回、オンラインで出席。		
			□QSY防火防災連絡会への参加	実施	実施	■上期総会は書面提出、下期総会(11/25)は計画通り出席。		
	3 必要人材の配置と職能		□館長のもとに部門の責任者を配置	実施	実施	■計画通り実施。		
			□各チーム統括のもとに業務担当者を配置	実施	実施	■計画通り実施。		
	4 主要人材の能力担保	(1)音楽の専門性を高める人材育成	■企画会議を実施(振り返りを行い、次の制作に活かす)	実施	実施	■計画通り実施。		
			■専門人材研修への参加(プロデューサー候補を育成する)	実施	実施	■財団主催の研修に担当者が参加。 5/23,7/26,8/26@横浜能楽堂		
			■文化関係者、企業、福祉施設や病院、学校等の多様な組織の人材との交流	実施	実施	■他地域での事業実施、社会包摂事業等の実施時に各文化施設、団体、教育機関等と連携		
		(2)ホールのホスピタリティを高める人材育成	■レセプション全員を対象に専門研修を実施。	実施	実施	■計画通り実施 10月 2グループ×2日間=計4日間実施		
			□新人・フォローアップ研修	実施	実施	■計画通り実施(2/6)。		
			□公演マネージャーは、サービス介助士の資格を取得	実施	未実施	■令和5年度に予定。		
		(3)職員の知識・能力を高める研修	□経理・労務研修	実施	実施	■財団主催の研修に担当者が参加。 eラーニングシステムを利用。		
			□防火防災訓練、避難誘導訓練(年2回)	実施	PLOTで1回 移転後に1回	■6/29 PLOT48で横浜美術館仮事務所と合同で実施 ■10/17,18 移転後に大小ホールからの避難誘導訓練を実施		
			□広報研修	実施	実施	■財団主催の研修に担当者が参加。 2/24 特色ある広報を展開する企業担当者にきく「S/PARKの取り組み-地域貢献と広報」@資生堂グローバルイノベーションセンター(S/PARK)		
			□人権研修	実施	実施	■実施		
□コンプライアンス研修			実施	実施	■計画通り実施。			
□個人情報保護法研修			実施	実施	■実施 5/9,12 全員対象の定例研修 11月～12月 個人情報の漏洩事故に伴い、全員対象の臨時研修を実施(シフト勤務のため、計6回実施し、必ず1回参加することとした)			
□危機管理研修			実施	実施	■10月に避難訓練を実施したほか、年度明けに動画視聴形式による訓練を実施。			
□評価者研修			実施	実施	■財団主催にて実施			
(4)他団体との交流、国内外への研修による人材育成	■プロデューサー候補となる職員を対象に、他団体への一定期間の派遣や国内外での研修機会を設ける	実施	外部派遣による研修は実施せず	■外部派遣による研修は実施していないが、財団内の専門人材研修へ参加や、休館中の他施設と連携した事業実施を通じ、プロデュース能力の向上をはかるよう努めた。				

令和4年度 横浜みなとみらいホール 指定管理者業務評価表

評価項目		令和4年度計画		実施状況		評価		
	指定管理者提案(要旨)	取組内容	目標	年間実績	説明	自己評価	行政評価	
3 施設全体の運営に対するアイデア・ノウハウの一層の活用 対応する使命 使命2: 市民や文化団体の音楽活動を支え、音楽専門ホールとしての活動の場を提供します。 使命5: 利用者の視点に立ち、持続可能性を高める施設運営を行い、地域社会に貢献します。	1 レセプションルーム利用時間の柔軟な対応	■公演後のレセプションルームを時間を前倒しして貸し出し	実施	実施	■計画通り実施。	【成果】 リニューアルオープンに際してチケットセンター運営を適切に再開しました。 レセプションルームについては利用率の向上を目指して大小ホールの控室利用の場合はリハーサル室の料金適用とする運用をスタートしています。 【課題】 大小ホールを利用しない撮影利用について積極的な受入れを可能とする制度設計が課題です。	【評価できる点】 レセプションルームの活用のため、利用形態に応じた適用料金などを設定し、利用率向上に向けて工夫したことを評価します。 【更なる取組を期待する点】 撮影利用など多様な利用に対する、施設運営やサービスについて、引き続き、ニーズ把握や検討を行うことを期待します。	
	2 託児サービスの実施	■公演時に有料託児サービスを提供する	実施	実施	■計画通り実施(外部委託)。			
	3 チケットセンター及びドリンクコーナーの運営	■公演の間合せに応じ、チケットを販売する窓口を設置 ■一定条件を満たす公演において、ドリンクサービス提供	実施	実施	■計画通り実施。 ドリンクコーナー機器は、再開前に保守点検や、機器の一部更新を行った。			
	4 横浜みなとみらいホールのPRにつながる撮影協力	■各種撮影を積極的に受け入れ、ホールをPR	実施	実施	■計画通り実施 ・3/5、9に日本テレビ系列ドラマ「リバーサルオーケストラ」(放送:2023年1/11-3/15)の最終回撮影利用を受け入れた。「リバーサル…」は新井館長が監修を務め、演奏には神奈川フィルが協力した。			
4 その他施設運営に関する事項 対応する使命 使命5: 利用者の視点に立ち、持続可能性を高める施設運営を行い、地域社会に貢献します。	1 休館日の届け出	毎月第2・4月曜日を基本に、8,12月にはそれぞれ4日の休館日を設けて定期保守等を行う	再開館以降の開館日:134日 休館日:17日(施設点検日、年始1/1-3)	実施	実施 リニューアル後の開館147日間、休館日は15日間	【成果】 ・定期保守等の日程を確保する一方、リニューアルオープン後の好調な利用にも支えられ、開館日数については計画以上となりました。 ・施設運営業務の根幹である利用許可業務について、着実に実施する一方、「横浜市文化施設における新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」に則った丁寧な利用打合せを行い、感染症の拡大を防ぎました。 【課題】 光熱水費の高騰に伴い、無駄がなく、かつ、利用者にとって不便をかけない空調設備運転が求められています。	【評価できる点】 リニューアルオープンにあたり、各届出を適切に実施しました。 【更なる取組を期待する点】 光熱水費などの変動する経費などの状況を注視し、円滑な施設運営を行うことを期待します。	
	2 許認可及び届け出	条例、規則及び関係法令に基づき、施設の利用申請を受け付け、許可する	施設利用許可等、定められた申請、届出等を受け付け、許可書等を発行する	実施	通年実施			■計画通り実施。
		条件をつけて許可する場合、条件の基準について別途定める	条件の基準は市に届け出るとともに、利用者等に周知する	実施	通年実施			■計画通り実施。
		不許可などの不利益処分を実施する場合は、市に対し審査請求できるよう書面で行う。	不利益処分は申請者に書面を交付する	実施	通年実施			■計画通り通年実施。 利用申請前に、ご利用可能な内容か、ヒアリング等を綿密に実施。
	3 目的外使用料の申請	飲料サービスやプログラム販売等への対応のため、目的外使用の申請を行う	ドリンクコーナーと飲料自販機について、目的外使用を申請する	10月	目的外使用申請実施			■計画通り実施。
4 財務状況の確認	定期的に執行状況を確認し、業務内容や予算を修正する	□仮決算の実施	実施	実施	■仮決算実施 10月 上半期仮決算実施 2月 光熱水費高騰に伴う仮決算実施			

令和4年度 横浜みなとみらいホール 指定管理者業務評価表

評価項目		令和4年度計画		実施状況		評価		
	指定管理者提案(要旨)	取組内容	目標	年間実績	説明	自己評価	行政評価	
IV施設管理								
1 保守管理業務 対応する使命 使命5: 利用者の視点に立ち、持続可能性を高める施設運営を行い、地域社会に貢献します。	1 安心、安全を第一に考える施設維持管理	■施設・設備の更新状況を把握し、適切な維持管理を実現する	■設備不具合や清掃箇所など日々の連携をはかるとともに、連絡票等での対応チェックを行う。	過失事故0件	過失事故0件	■計画通り過失事故0件。	【成果】 ・事務所移転後、リニューアルオープン前に、利用者、出演者、スタッフが利用するための環境整備を急ピッチで進め、リニューアルオープン後も、随時ホール運営に必要な工事、修繕、備品購入等、整備を継続しました。 ・事務所移転、及びリニューアルオープン前のタイミングで、出演者、主催スタッフが利用できるWi-fi環境を整えました。また、大・小ホールとも、ライブ配信等を可能とする幹線工事を実施し、サービスの充実を図りました。 【課題】 ・改修工事対象外部分の老朽化対応 ・改修工事一年目点検への対応 ・ピアノのコンディション維持及びオーバーホールの検討	
			■専門業者への委託による専門知識を活用し、運用シミュレーションを実施してホール環境を整える。	実施	実施	■計画通り実施。		
			■工事・什器入替に伴うVOC測定や、修繕期間中休眠していた設備等の清掃、点検を行い、安全性を確認する	実施	実施	■計画通り実施。一部は什器搬入スケジュールの関係で令和5年度に実施。		
			■改正健康増進法の要件を満たす喫煙スペースを設置し、適切に管理する	実施	実施	■10月より運用開始。計画通り実施。		
		●設備関係の点検・定期整備業務	■年間計画作成・実施	実施	実施	■計画通り実施。		
			■電気設備点検(停電)は工事期間中に実施済みだが、不具合等があれば対応する	実施	工事中につき実施せず	！工事中につき実施せず。令和5年度に実施。		
			<input type="checkbox"/> 客席保守点検	スポット点検	随時修繕等実施	！スポット点検は実施せず、随時修繕、清掃等に対応。工事で予備品が入っていないP席については、予備座席を購入。		
			<input type="checkbox"/> 舞台照明定期保守	実施	実施	■計画通り実施。(1/10,11,24)		
		●舞台関係の点検・定期整備業務 大ホール、小ホール	<input type="checkbox"/> 舞台音響定期保守	実施	実施	■計画通り実施。(2/1,7,8)		
			<input type="checkbox"/> 舞台機構定期保守	実施	実施	■計画通り実施。(9/5,2/9) ・10/11 大・小ホールの平台点検を実施。		
			■楽器の定期メンテナンス/調律して良好な状態を保つ。					
			<input type="checkbox"/> パイプオルガン	実施	実施	■計画通り実施。 大規模改修工事中のオーバーホールを経て、整音作業、ホールオルガニスト等によるオルガンメンテナンスを随時行った。		
		2 備品等の適切な管理	<input type="checkbox"/> コンサートグランドピアノ	実施	実施	■計画通り実施。 9～10月に、保守点検を行うとともに、リニューアルに向けた各ピアノの弾き込みを実施した。		
			<input type="checkbox"/> 練習室・リハーサル室・楽屋 ピアノ	実施	実施	■計画通り実施。 9～11月に、保守点検を行うとともに、リニューアルに向けた各ピアノの弾き込みを実施した。また、利用開始後は施設点検日に定期調律を行った。		
<input type="checkbox"/> 年1回、物品管理簿の棚卸を行い、物品が適切に管理されているか確認し、市に報告する。	実施		実施	■計画通り実施。 年度明けに3月締め分の購入備品の横浜市への寄贈手続きを行う。				
■新型コロナウイルス感染症流行を防止するため、清掃箇所や回数増など衛生管理を強化する			手順作成	実施	■設備・清掃統括業者に委託して実施。清掃タイミング、消毒箇所、手順等を協議の上定めた。また消毒用アルコールの位置や残量確認、補充についても同様に実施。			
2 環境維持管理業務 対応する使命 使命5: 利用者の視点に立ち、持続可能性を高める施設運営を行い、地域社会に貢献します。 使命7: 新型コロナウイルス感染症の影響が長期化した場合には、徹底した感染防止対策の下で、安全に自主事業及び貸館業務を実施し、市民の文化活動の基盤として、施設運営を継続します。	2 ■「興行場法」に定められた環境を維持する	<input type="checkbox"/> 空気環境測定	隔月1回	実施	■計画通り実施。	【成果】 設備・清掃統括業者と協議し、清掃の頻度、タイミング、消毒箇所・手順を決定、「横浜市文化施設における新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」に則り、適切に実施しました。 【課題】 「ガイドライン」の改訂及び廃止等に応じて、停止していたサービスを順次再開していますが、引き続き状況を注視し、ご来場者様、ご利用者様の安全を確保します。		
		<input type="checkbox"/> 照度測定	1回/年	年1回実施	■計画通り実施。			

令和4年度 横浜みなとみらいホール 指定管理者業務評価表

評価項目		令和4年度計画		実施状況		評価	
	指定管理者提案(要旨)	取組内容	目標	年間実績	説明	自己評価	行政評価
3 保安警備業務 対応する使命 使命5: 利用者の視点に立ち、持続可能性を高める施設運営を行い、地域社会に貢献します。	1 事故防止および犯罪防止のための方針と対策	(1)不審者対策を兼ねた入口警備	□開館時間中の、1階、地下1階楽屋口の有人警備	実施	実施	■計画通り実施。 事務所移転後の8月12日より、常駐警備を開始した。	【成果】 地下1階の駐車場口、1階の楽屋口に警備員を常駐、またリニューアル後の新しい配置として、公演時の立哨を開始、セキュリティとサービス向上に努めました。 【課題】 警備員については保安警備の他、公演時の立哨や入館受付業務も含まれるため、安全な施設の実現に加え、サービス提供を担う一員としても位置づけられます。委託業者との定例打合せの他、避難訓練等も連携しながら実施し、より安全で質の高い施設利用を提供します。
		(2)駐車場・搬入口管理業務	地下1階楽屋口前に借り上げた駐車場利用者等の安全確保。1階搬入口での搬出入は警備員立会い。	過失事故0件	実施	■計画通り実施。 10月29日以降、大・小ホール問わず、公演がある際は開場時から来場者退館時まで立哨を実施。	
		(3)巡回警備の徹底	□閉館前の警備員による館内巡回警備の徹底	実施	実施	■計画通り毎日実施。	
		(4)24時間365日の警備体制	■異常の早期発見と未然防止のため、機械警備を併用し、24時間365日警備体制を整える	実施	実施	■計画通り実施。 工事後の建物引き渡しとともに機械警備開始。	
4 防火・防災等 対応する使命 使命5: 利用者の視点に立ち、持続可能性を高める施設運営を行い、地域社会に貢献します。 使命7: 新型コロナウイルス感染症の影響が長期化した場合には、徹底した感染防止対策の下で、安全に自主事業及び貸館業務を実施し、市民の文化活動の基盤として、施設運営を継続します。	1 平常時の防災対策		■QSY防火防災管理協議会 会議参加	実施	実施	■計画通り実施。 上半期総会は書面提出、下半期総会(11/25)に防火管理者が出席	【成果】 必要な点検、訓練、届出等について着実に実施しました。 【課題】 様々な災害、多様な来館者を想定した訓練、及びマニュアル類のアップデートの随時実施と、スタッフへの徹底が必要です。
			□防災管理自主点検	年2回	実施	■計画通り実施。 自主点検については設備員、警備員巡回時に毎日実施	
			□防災設備点検	年1回	実施	■計画通り実施。(12/5,19,1/10)	
			□消防訓練・防災訓練	年2回	PLOTで1回実施 MMHで1回実施	■年2回実施 年度明けにMMHでの2回目を実施。	
2 危機管理体制の構築	感染症対策	■感染症対策の観点から、清掃箇所や回数増など再開館後の衛生管理を見直す	手順作成	手順を作成し実施	■計画通り実施。 新型コロナウイルス感染症防止策を、「横浜市文化施設における新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」に則って実施。 ※同ガイドラインは令和5年5月8日廃止。		
	防災対策	■QSY共同防火管理体制、横浜市の防災ガイドラインと連動し、再開館後の設備や配置に見合った「消防計画」「危機管理マニュアル」を改めて整備する	届出	届出	■計画通り、消防計画及び防火対象物使用開始届、喫煙禁止届出書を提出。		
	大規模災害への対策	■大型台風や大地震などを想定した訓練を実施する	年2回	訓練2回実施	■PLOT48とホールで1回ずつ実施。 年度明けに動画視聴による訓練を実施。		
5 緊急時の対応 対応する使命 使命5: 利用者の視点に立ち、持続可能性を高める施設運営を行い、地域社会に貢献します。	1 緊急時(災害発生時)の連絡体制・役割分担		■緊急時の連絡体制と役割分担を見直し、緊急連絡先カードを作成する	実施	実施	■実施 館内内線及び警察、消防を網羅した電話番号表を作成、共有。コンパクトなものについては検討中。	【成果】 緊急時連絡については館内、横浜市、及びクイーンズスクエア管理組合でそれぞれ共有しました。伝言ダイヤル、Web上の掲示板を活用した連絡訓練に参加しました。 【課題】 クイーンズスクエア横浜、パシフィック横浜等と連携し来街者の安全を守るとともに、横浜市より依頼のあった「帰宅困難者一時滞在施設」としての登録・準備を検討します。
			■全職員に周知を徹底するとともに、非常時に備え、緊急連絡先カードを携帯する。	実施	一部実施	■一部実施 館内内線及び警察、消防を網羅した電話番号表を作成、共有。コンパクトなものについては検討中。	
2 災害発生時の取組		■地震、火災、台風など、災害の危険が予想される時は来館者の安全確保を最優先とし避難措置や必要な緊急対応を行うほか、横浜市と協議の上、閉館等の措置を適宜実施する。	実施	検討	■帰宅困難者一時滞在施設としての登録を検討中。		
6 その他施設管理に関する事項 対応する使命 使命5: 利用者の視点に立ち、持続可能性を高める施設運営を行い、地域社会に貢献します。	1 6階屋上庭園の取扱い		■植栽の手入れを専門業者に委託し、植栽の生育状況を横浜市と共有する	実施	整備実施	■計画通り実施 9/25リニューアルオープン前に整備実施。	【成果】 業務に必要な資格者の配置について計画通り実施しました。 【課題】 改修工事の対象外であった施設、設備劣化が進んでおり、安全性を確保するための修繕実施や、全面更新の提案をしていきます。
			■利用者が立ち入るウッドデッキを定期的に清掃し、安全を確認する。	実施	日常清掃実施	■日常清掃実施	
	2 施設の管理を行う上で必要な資格者の配置		□電気主任技術者 1名 QSY管理組合の電気主任技術者をもって配置に替える。	維持	維持	■計画通りクイーンズスクエア管理組合に配置。	
			□建築物環境衛生管理技術者 1名 管理センターの技術員を設定	維持	維持	■計画通り管理センターに配置。	
			□ボイラー技師 1名 管理センターの技術員を設定	維持	維持	■計画通り管理センターに配置。	
			□第3級陸上特殊無線技士 2名	配置	配置	■計画通り2名配置(舞台スタッフ、事務所スタッフ各1名)。	
			□甲種防火管理者及び防災管理者 1名	配置	配置	■計画通り建物引き渡しとともに配置。	
			□第二種衛生管理者 1名	配置	配置	■計画通り配置。 11月に衛生委員会を立ち上げ、以降月1回開催。	

令和4年度 横浜みなとみらいホール 指定管理者業務評価表

評価項目		令和4年度計画		実施状況		評価	
	指定管理者提案(要旨)	取組内容	目標	年間実績	説明	自己評価	行政評価
V 収支							
1 指定管理料のみに依存しない収入構造 対応する使命 使命1: 市民が多様な音楽に親しむ機会を提供し、国内外から高い評価を受ける創造・創作の拠点となります。 使命2: 市民や文化団体の音楽活動を支え、音楽専門ホールとしての活動の場を提供します。 使命5: 利用者の視点に立ち、持続可能性を高める施設運営を行い、地域社会に貢献します。	1 助成金・協賛金確保の強化	□公的助成金、民間助成金および協賛金について、積極的な獲得に努めます。	□助成金・協賛金収入 15,000千円	20,472千円	□助成金・協賛金 20,472千円 ・文化庁 劇場・音楽堂機能強化推進事業 ・神奈川県 マグカル助成金 ・横浜市国際招待ピアノ演奏会の民間助成財団からの助成について、採択されたもののチケット収入が上がったため辞退。	【成果】 ・文化庁等の助成金について、目標額以上を確保。 ・利用料金収入について予算を上回る実績がありました。 【課題】 ・収入面では、事業収入、利用料収入の安定した確保の他、助成金の活用については、引き続き、各助成プログラムの趣旨に沿った申請を検討し着実に進めていきます。また、新たな発想による財源の開拓も課題です。 ・支出面では、業務委託費、修繕費における材料費や人件費上昇の影響、光熱水費の高騰等への対応が課題です。	【評価できる点】 各助成金を活用し、事業展開されていることを評価します。 【更なる取組を期待する点】 各助成金は、実施主体の狙いや重点事業などの特徴があるので、補助事業のメニューに則した事業や企画を申請し、引き続き、助成金を活用できるよう調整をお願いします。また、企業協賛金(事業スポンサー)などの事業資金の確保に努めてください。集客事業には、宣伝や発信効果があるので、引き続き、企業メリットを考慮した渉外活動など、事業資金の確保を検討してください。
	2 アフターコンベンションの利用促進	R4は検討のみ		検討	■計画通り実施		
	3 レセプションルームの利用促進	■控室利用や開演前のイベント利用について、リハーサル室と同料金で利用できるようにする	実施	実施	■計画通り実施		
2 経費削減等効率的運営の努力 対応する使命 使命2: 市民や文化団体の音楽活動を支え、音楽専門ホールとしての活動の場を提供します。 使命5: 利用者の視点に立ち、持続可能性を高める施設運営を行い、地域社会に貢献します。 使命7: 新型コロナウイルス感染症の影響が長期化した場合には、徹底した感染防止対策の下で、安全に自主事業及び貸館業務を実施し、市民の文化活動の基盤として、施設運営を継続します。	1 ICTを活用した効率的・効果的な運営を推進	■抽選申込、練習室予約、公演情報の提出をWeb上で可能とする(使命7と重複)	実施	実施	■計画通り実施。コロナウイルス感染症対策として、抽選申込をメールで受付。		
	2 業務システムによる管理業務の効率化	■財団全体で業務の標準化を進め、生産性の向上に努める。	実施	通年実施	■計画通り実施。		
	3 大小ホールの温湿度設定の見直し	■空調機や照明設備更新後の、大小ホールの空調設定をテストし、快適性とコスト削減のバランス点を模索する	9月以降通年	移転以降実施	■計画通り実施。		
VI 各種計画書・報告書の作成及び業務評価							
対応する使命 使命5: 利用者の視点に立ち、持続可能性を高める施設運営を行い、地域社会に貢献します。	1 日報、月報の作成・管理	□業務日報の作成	実施	実施	■計画通り実施。	【成果】 事務室日報に加え、公演日誌(舞台・レセプション)を作成。設備、清掃、警備の各業務についても、日報、及び業務により月報を作成、保存しています。 【課題】 業務計画・予算、業務報告・決算等について、各職階に応じた横浜市との対話を通じ、政策協働型指定管理の維持発展を目指します。	【評価できる点】 【更なる取組を期待する点】 各部門との連絡調整を行い、引き続き、円滑な事業運営の実施をお願いします。
		□管理運営月報・完了確認表を作成し、モニタリングにおいて報告	実施	実施	■対面または書面提出にて実施。		
	2 業務計画書・業務報告書の作成・管理	□業務計画書・業務報告書の作成	実施	実施	■計画通り実施。		
		□収支予算書・収支報告書を作成	実施	実施	■計画通り実施。 決算については、次年度の財団理事会、評議員会にて確定。		
3 業務評価の実施	□自己評価	実施	実施	■計画通り実施。			

令和4年度 横浜みなとみらいホール 指定管理者業務評価表

評価項目		令和4年度計画		実施状況		評価	
	指定管理者提案(要旨)	取組内容	目標	年間実績	説明	自己評価	行政評価
Ⅶ その他		業務の基準					
1 市の重要政策課題への対応 対応する使命 使命4: 年齢、性別、国籍、言語、障害の有無、経済的状況等にかかわらず、あらゆる人達が音楽に触れる機会を創出します。 使命5: 利用者の視点に立ち、持続可能性を高める施設運営を行い、地域社会に貢献します。	1 個人情報保護についての取組	■個人情報の保護に関する法令等を遵守し、個人情報適正に取り扱う。	有責事故0件	事故2件	■有責事故2件(10/7,11/24)	【成果】 各重要政策課題について配慮し業務を行いました。男女別の休養室の設置等、法令に従った整備も行いました。 【課題】 ・10月、11月に個人情報漏洩事故が発生。3月末には附帯設備利用料金の誤請求が発覚しました。複数人によるチェックだけでなく、仕組みの見直しを行うこと、研修、事例の学習、OJTを通じて、各スタッフは担当業務フローの中でルールを理解するとともに、どういう場が危険なのかを感得することが重要と考えます。 【更なる取組を期待する点】 各業務における業務体制や確認体制について、現場の運営とリスクヘッジの視点において、確認と改善を行い、よりよい運営体制となるように実施をお願いします。	
		□新規配属職員への個人情報研修	年1回	年次研修1回 臨時研修1回	■全員対象の定例研修(5/9,12) ・上記漏洩事故を受け、全員対象の臨時研修を実施。11/15-12/23に6回実施、全員1回参加を必須とした。		
		■「個人情報取扱いマニュアル」を整備する	実施	実施	■計画通り実施。		
	2 情報公開についての取組	■公の施設の管理者として説明責任を果たす観点から、横浜市、財団事務局との連携をはかり、「財団情報公開規程」に基づいて適切に対応する。	実施	通年継続	■通年、財団事務局にて対応。		
	3 人権尊重についての取組	□人権研修を年1回実施	年1回	年1回実施	■横浜市局、区主催の人権啓発講演会等を活用して実施。		
	4 環境への配慮に関する取組	■施設の状態を維持し、快適な環境を保つため、清掃業務を適切に行う。	実施	実施	■清掃業務について、計画通り実施		
		■施設から発生する廃棄物の発生抑制に努めるとともに、ゴミ分別を行って資源化を促進する。	実施	実施	■ゴミ分別について、計画通り実施		
5 障害者差別解消	■事業：障がいの有無にかかわらず楽しめる事業の実施 ■運営：利用打合せ時に合理的配慮事項を申し受ける ■施設：多機能トイレの増設、エレベーターの増設によるバリアフリー化による設備面での改善が行われた	実施	実施	■計画通り実施。 改修工事により、大ホールエントランスのスロープ化、多機能トイレ増設、駐車場エレベーターの新設が行われた。これらを踏まえた利用打合せを行うとともに、小ホール用エレベーターの6階まで延長されたので、車いすの来場者に対応するオペレーションを実施した。			
6 男女共同参画	■仕事と家庭の両立をサポートするため、良好な職場環境を維持(年休5日取得、36協定、休養室の設置)	通年	通年実施	■計画通り実施。			
7 市内中小企業優先発注についての取組	■「横浜市中小企業振興基本条例」を踏まえ、修繕等の発注、物品及び役務の調達等に当たって、可能な限り市内中小企業への優先発注に努める。	実施	実施	■計画通り実施。横浜市有資格者名簿を参照し、優先発注に努めました。			
業務の基準							
2 その他 対応する使命 使命4: 年齢、性別、国籍、言語、障害の有無、経済的状況等にかかわらず、あらゆる人達が音楽に触れる機会を創出します。 使命5: 利用者の視点に立ち、持続可能性を高める施設運営を行い、地域社会に貢献します。	1 保険及び損害賠償の取扱い	■業務の基準に定められた内容で、施設賠償保険、動産総合保険、レジャー・サービス施設費用保険に加入する。	8月までPLOT 8月以降降ホール	8月までPLOT 8月以降MMホールで加入	■計画通り加入。	【成果】 関係法令、業務の基準、及び財団諸規程等に従って、業務を着実に実施しました。 【課題】 事故、救急搬送、施設不具合等については、シフト勤務に関わらず適切に対応できるよう、マニュアル、連絡体制を常に見直しながら整備、維持します。	
	2 関係法令等の順守	■現行の関係法令を順守するとともに、法令改正に気を配り、契約等の前に確認する	実施	通年実施	■計画通り実施。		
		■マイナンバー制度事務取扱手順の徹底と事故防止に努める	有責事故0件	マイナンバー関連有責事故0件	■マイナンバー関連の有責事故0件		
3 市及び関係機関等との連絡調整	■事故や不具合時は即日報告とし、随時共有	実施	実施	■計画通り実施 ・12/21 政策経営協議会 ・1/24 選定評価委員会			
	■横浜市(政策協議会含む)や関連機関との情報共有	実施	実施	■計画通り実施。			
	■みなとみらい21のゼロエミッション分科会に出席する。	実施	実施	■計画通り実施。			

令和4年度 横浜みなとみらいホール 指定管理者業務評価表

評価項目		令和4年度計画		実施状況		評価	
	指定管理者提案(要旨)	取組内容	目標	年間実績	説明	自己評価	行政評価
業務の基準							
<p>3 大規模改修に伴う休館及び休館時の業務等</p> <p>対応する使命 使命2: 市民や文化団体の音楽活動を支え、音楽専門ホールとしての活動の場を提供します。</p> <p>使命5: 利用者の視点に立ち、持続可能性を高める施設運営を行い、地域社会に貢献します。</p> <p>使命6: 大規模改修による長期休館を活かし、横浜みなとみらいホールのプレゼンスの向上を図ります。</p>	<p>1 みなとみらいホールの管理・運営業務</p>	<p>みなとみらいホール管理業務</p>	<p>■工事業者等との定期会議への出席</p>	参加	参加	<p>■計画通り実施。 ・6/24工事定例最終回まで、毎月1回出席。</p>	<p>【成果】 仮事務所「PLOT 48」から改修工事後の横浜みなとみらいホールへの速やかな移転、各種準備業務を行った上で再開館を迎えるという令和4年度の最重要課題に取り組みました。 運送業者決定後は綿密に打合せ、PLOTからの移動に備える一方、事務所移転と同時に行わなければならないLAN配線工事のプランニングを並行して進め、7月29日の建物引き渡しから短期間での事務所移転を事故なく完了しました(8/9-11 移転 8/15より新事務所での執務開始)。 その後は、自主事業参加者や貸館等来館者をお迎えするため、またスタッフの労働環境を整えるため、必要な備品や利用者向けの書類準備、外部倉庫からのピアノ搬入、各委託業者を含めたオペレーションの細部打合せ、レセプション研修等、各チームとも多岐にわたる業務に取り組みました。再開館準備業務に加え、式典、内覧会の中止対応等、突発的対応のためスタッフの負担は大きくなりましたが、10月29日、市民の方をお迎えしてのリニューアル記念演奏会を実施、11月からは貸館利用を予定通り再開することができた点が、最大の成果であると考えます。 また、仮事務所については、サイン看板の撤去、退去後清掃等を実施、現状復帰しました。</p> <p>【課題】 再開館後も、新たに必要となった備品等の搬入、購入などは続けており、このため開館前にVOC検査の体制が整わなかった室場については、令和5年度に着実に実施します。</p>
			<p>■ピアノやパイプオルガンにかかる作業について、横浜市等と適切に調整する</p>	実施	通年実施	<p>■計画通り、ピアノの外部倉庫からの移転、オルガンオーバーホール後の整音作業、メンテナンス等を実施。</p>	
			<p>■QSY管理組合事務局会議への出席 ※Ⅲ-2-2と同内容</p>	月1回	原則月1回参加	<p>■計画通り実施。 原則として月1回、オンラインで出席。</p>	
		<p>再開準備業務</p> <p>■委託業務の課題を洗い出し、適切な業務内容に仕様を改訂する <input type="checkbox"/>警備業務 <input type="checkbox"/>設備業務 <input type="checkbox"/>清掃業務</p>	実施	実施	<p>■計画通り実施。 各委託業者については、計画通り契約、建物引き渡し後随時配置。</p>		
		<p>■備品・附帯設備の購入</p>	通年	通年実施	<p>■計画通り実施。 建物引き渡し後、市購入分については随時受入。その他必要な備品について、随時購入。</p>		
		<p>引越し業務</p> <p>■PLOT他からの搬入計画を立て、計画通り引越す</p>	8月	8/8-10日移転 8/15新事務所での業務開始	<p>■計画通り実施。 ・8/8-10 事務所移転 ・8/15 新事務所での業務開始</p>		
	<p>■害虫駆除、VOC測定、仕物の耐震工事など、労働環境の安全を確保する</p>	8-9月	引き渡し以降実施	<p>■計画通り実施。 ・事務所移転以降、随時什器搬入。必要な耐震固定を実施。 ・建物引き渡し以降、毎月害虫駆除業務を実施</p>			
	<p>■パイプオルガン修理完了後、各階のピアノを搬入し、調律、弾き込みを行う</p>	9-10月	実施	<p>■計画通り実施。 ・9/5-7 外部倉庫からのピアノ移転実施 ・9-10月 リニューアルオープンに向け、保守点検、弾き込みを実施</p>			
	<p>2 48街区の管理業務</p>	<p>横浜美術館ほかと入居する、PLOT48を適切に管理する(契約:横浜美術館)</p>	<p>■保守点検 年間管理計画に基づき、設備等の保守点検を行う</p>	実施	実施	<p>■計画通り実施。</p>	
			<p>■安全管理 設備等の不具合を修繕し、講座等の来場者とスタッフの安全を確保する</p>	有責事故0件	有責事故0件	<p>■有責事故0件</p>	
<p>□消防訓練・防災訓練の実施</p>			1回	1回	<p>■計画通り実施。</p>		
<p>みなとみらいホールに転居する際、原状復帰して引き渡す(8月予定)</p>	<p>■退去・原状復帰 ホールに戻る際には、退去後の原状復帰作業等を行う</p>	実施	実施	<p>■計画通り、サイン撤去、退去後清掃を実施。</p>			

評価	
自己評価	行政評価
<p>【成果】 休館中に市内18区に出向いて市民との距離を縮め、新たなファンも創出しながら、リニューアルオープンへの期待感を高めることができました。また、「横浜音祭り2022」との相乗効果も意識し、音楽の祭典から再開館へとつながる、音楽による賑わい・祝祭感を創出しました。前年度(令和3年度)に新たに策定したコンセプト・スローガンを活用し、事業・広報・運営・管理の各業務で有機的かつ強力に推進することで、市民に新たなスタートを印象づけることが出来ました。</p> <p>【課題】 安心してお客様をお迎えすることが出来るよう、大規模改修工事後に改善が必要となっている設備関係については、横浜市と課題を共有・協議しながら、早期解決に務めて参ります。</p>	<p>休館中には、ホール外でのアウトリーチ事業として、横浜18区コンサート等を実施し、身近な地域で音楽に触れる機会を創出し、ホールをPRしたことを評価します。 また、リニューアルオープンに向け、事務所の移転、業務環境の整備及びスタッフ採用・教育など、多くの準備業務をホール職員全員で円滑に実施したこと、及びウェブサイトを更新し、音楽練習室のインターネット予約を開始し、利用者の利便性向上及び予約事務効率化したことを評価します。</p> <p>再開館後には、リニューアルオープン記念事業を多数実施し、横浜音祭りと連携し、音楽専門ホールとして、企画や運営の中心的な役割を担いました。 また、学校や他ホールと連携し、ネットワーク作りをするとともに、子どもや学生向けの事業では、音楽の普及・環境創出のみならず、公演制作による舞台専門職の職業体験事業を行い、目的別に次世代育成事業を実施しました。 これらの取組は、利用者の裾野を広げ、業界を活性化させる取組ですので、継続して事業展開してください。</p>